

○ 土地改良事業等請負工事の積算参考歩掛（平成 15 年 3 月 28 日 14 農振第 2694 号農村振興局整備部長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改 正 後	現 行																																																																																																																												
<h2 style="margin: 0;">1. 土 工</h2> <p>① バックホウ掘削（超ロングアーム仕様）</p> <p>1.・2. [略]</p> <p>3. 機種の選定 各作業に使用する機種・規格は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削</td> <td>バックホウ (<u>クローラ型</u>)</td> <td><u>超ロングアーム型</u>・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td><u>通称</u> 10t 積級</td> <td>必要に応じて計上する</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 4-1 掘削積込作業 バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込作業の日当り施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4. 1 日施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>日施工量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削</td> <td>バックホウ (<u>クローラ型</u>)</td> <td><u>超ロングアーム型</u>・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m³</td> <td style="text-align: center;">116</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2 [略]</p> <p>5. 単価表 (1) バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (<u>クローラ型</u>) 運転</td> <td><u>超ロングアーム型</u>・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m³</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) [略]</p> <p>(2) ダンプトラック運搬 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転</td> <td><u>通称</u> 10t 積級</td> <td>日</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) [略]</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (<u>クローラ型</u>)</td> <td><u>超ロングアーム型</u>・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m³</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td><u>通称</u> 10t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→58</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	機 種	規 格	摘 要	軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³		運 搬	ダンプトラック	<u>通称</u> 10t 積級	必要に応じて計上する	作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m ³)	軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	116	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (<u>クローラ型</u>) 運転	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	日	100/D		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転	<u>通称</u> 10t 積級	日	D		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48	ダ ン プ ト ラ ッ ク	<u>通称</u> 10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58	<h2 style="margin: 0;">1. 土 工</h2> <p>① バックホウ掘削（超ロングアーム仕様）</p> <p>1.・2. [略]</p> <p>3. 機種の選定 各作業に使用する機種・規格は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削</td> <td>バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m³ (<u>平積</u> 0.3m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t 積級</td> <td>必要に応じて計上する</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 4-1 掘削積込作業 バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込作業の日当り施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4. 1 日施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>日施工量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削</td> <td>バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m³ (<u>平積</u> 0.3m³)</td> <td style="text-align: center;">116</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2 [略]</p> <p>5. 単価表 (1) バックホウ（超ロングアーム仕様）掘削積込 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>) 運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m³ (<u>平積</u> 0.3m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) [略]</p> <p>(2) ダンプトラック運搬 100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>10t 積級</td> <td>日</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) [略]</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m³ (<u>平積</u> 0.3m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td>ダ ン プ ト ラ ッ ク</td> <td>10t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→58</td> </tr> </tbody> </table>	作業の種類	機 種	規 格	摘 要	軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)		運 搬	ダンプトラック	10t 積級	必要に応じて計上する	作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m ³)	軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	116	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	日	100/D		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転	10t 積級	日	D		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48	ダ ン プ ト ラ ッ ク	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58
作業の種類	機 種	規 格	摘 要																																																																																																																										
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³																																																																																																																											
運 搬	ダンプトラック	<u>通称</u> 10t 積級	必要に応じて計上する																																																																																																																										
作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m ³)																																																																																																																										
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	116																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
バックホウ (<u>クローラ型</u>) 運転	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	日	100/D																																																																																																																										
計																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転	<u>通称</u> 10t 積級	日	D																																																																																																																										
計																																																																																																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																										
バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>超ロングアーム型</u> ・排出ガス対策型(第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.4m ³	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48																																																																																																																										
ダ ン プ ト ラ ッ ク	<u>通称</u> 10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58																																																																																																																										
作業の種類	機 種	規 格	摘 要																																																																																																																										
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)																																																																																																																											
運 搬	ダンプトラック	10t 積級	必要に応じて計上する																																																																																																																										
作業の種類	機 械 名	規 格	日施工量 (m ³)																																																																																																																										
軟弱土の掘削積込 仮置土の掘削	バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	116																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	日	100/D																																																																																																																										
計																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
ダ ン プ ト ラ ッ ク 運 転	10t 積級	日	D																																																																																																																										
計																																																																																																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																										
バックホウ (<u>超ロングアーム仕様</u>)	排出ガス対策型(第2次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.4m ³ (<u>平積</u> 0.3m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→85 機械損料数量→1.48																																																																																																																										
ダ ン プ ト ラ ッ ク	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→58																																																																																																																										

② ダンプトラック運搬（標準以外）

1. 適用範囲

本歩掛は、施工パッケージ型積算基準1. 土工②土工3-2土砂等運搬（標準、小規模）が適用できない場合での、下表の組合せによるダンプトラックによる運搬作業に適用する。

表 1. 1 組合せ機械

運搬機種・規格	積込機種・規格
ダンプトラック <u>通称</u> 4t 積級	バックホウ <u>バケツ容量</u> 0.8m ³
	バックホウ <u>バケツ容量</u> 0.45m ³
ダンプトラック <u>通称</u> 2t 積級	バックホウ <u>バケツ容量</u> 0.8m ³
	バックホウ <u>バケツ容量</u> 0.45m ³

2. 運搬作業

2-1 施工歩掛

運搬作業の施工歩掛（土砂）は、次表を標準とする。

表 2. 1 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>バケツ容量</u> 0.8m ³ +DT <u>通称</u> 4t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 2 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>バケツ容量</u> 0.45m ³ +DT <u>通称</u> 4t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 3 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>バケツ容量</u> 0.8m ³ +DT <u>通称</u> 2t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 4 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>バケツ容量</u> 0.45m ³ +DT <u>通称</u> 2t 積級)	(日/10m ³)
[略]	

(注) 1. ~ 6. [略]

2-2 [略]

3. 単価表

(1) ダンプトラック運搬 10m³ 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ダンプトラック 運転	ダンプトラック <u>通称</u> 4t 積級 <u>通称</u> 2t 積級	日	D	表 2. 1~表 2. 4
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ダンプトラック	<u>通称</u> 4t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.17
ダンプトラック	<u>通称</u> 2t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→20 機械損料数量→1.18

③・④ [略]

② ダンプトラック運搬（標準以外）

1. 適用範囲

本歩掛は、施工パッケージ型積算基準1. 土工②土工3-2土砂等運搬（標準、小規模）が適用できない場合での、下表の組合せによるダンプトラックによる運搬作業に適用する。

表 1. 1 組合せ機械

運搬機種・規格	積込機種・規格
ダンプトラック 4t 積級	バックホウ <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)
	バックホウ <u>山積</u> 0.45m ³ (<u>平積</u> 0.35m ³)
ダンプトラック 2t 積級	バックホウ <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)
	バックホウ <u>山積</u> 0.45m ³ (<u>平積</u> 0.35m ³)

2. 運搬作業

2-1 施工歩掛

運搬作業の施工歩掛（土砂）は、次表を標準とする。

表 2. 1 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)+DT 4t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 2 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>山積</u> 0.45m ³ (<u>平積</u> 0.35m ³)+DT 4t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 3 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)+DT 2t 積級)	(日/10m ³)
[略]	
表 2. 4 運搬作業施工歩掛 (BH κ - ω 型 <u>山積</u> 0.45m ³ (<u>平積</u> 0.35m ³)+DT 2t 積級)	(日/10m ³)
[略]	

(注) 1. ~ 6. [略]

2-2 [略]

3. 単価表

(1) ダンプトラック運搬 10m³ 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ダンプトラック 運転	ダンプトラック 4t 積級 2t 積級	日	D	表 2. 1~表 2. 4
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ダンプトラック	4t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.17
ダンプトラック	2t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→20 機械損料数量→1.18

③・④ [略]

2. 共通工

① [略]

② 現場打コンクリート法砕工

1. ~3. [略]

4. 機種の選定

コンクリートポンプ車打設の場合の機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表 4. 1 機種の選定

作業種別	機械名	規格	摘要
コンクリート投入打設	コンクリートポンプ車	ブーム式 圧送能力 90~110 m ³ /h、配管式圧送能力 90~100 m ³ /h	ブーム打設及び配管打設に適用
型 砕 工	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 25t 吊	

(注) [略]

5. ~12. [略]

③ [略]

④ 石積類とりこわし

1. ~3. [略]

4. 機械とりこわし

4-1 機種の選定

とりこわし、破砕材集積に使用する機械は次表を標準とする。

表 4. 1 機種の選定

種 別	作 業 別	名 称	規 格
練 積	とりこわし	大型ブレーカ	油圧式 <u>通称</u> 1, 300kg 級
		バックホウ (ベースマシン)	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 <u>バケット容量</u> 0.8m ³
	破砕材集積	バックホウ <u>(クローラ型)</u>	<u>クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³
空 積	とりこわし	バックホウ <u>(クローラ型)</u>	<u>クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第2次基準値)
	破砕材集積		<u>バケット容量</u> 0.8m ³

4-2 [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 機械とりこわし 10m²当り単価表：練積

2. 共通工

① [略]

② 現場打コンクリート法砕工

1. ~3. [略]

4. 機種の選定

コンクリートポンプ車打設の場合の機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表 4. 1 機種の選定

作業種別	機械名	規格	摘要
コンクリート投入打設	コンクリートポンプ車	ブーム式 圧送能力 90~110 m ³ /h、配管式圧送能力 90~100 m ³ /h	ブーム打設及び配管打設に適用
型 砕 工	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	

(注) [略]

5. ~12. [略]

③ [略]

④ 石積類とりこわし

1. ~3. [略]

4. 機械とりこわし

4-1 機種の選定

とりこわし、破砕材集積に使用する機械は次表を標準とする。

表 4. 1 機種の選定

種 別	作 業 別	名 称	規 格
練 積	とりこわし	大型ブレーカ	油圧式 1, 300kg 級
		バックホウ (ベースマシン)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)
	破砕材集積	バックホウ	排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 (クレーン機能付) <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)
空 積	とりこわし	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 (クレーン機能付)
	破砕材集積		<u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)

4-2 [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 機械とりこわし 10m²当り単価表：練積

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		表4.2
大型ブレーカ運転	油圧式 <u>通称</u> 1,300kg 級 [ベースマシン] 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 <u>バケット容量</u> 0.8m ³	h		"
バックホウ (クローラ型) 運 転	<u>(クローラ型) クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³	"		"
諸 雑 費		式		"
計				

(3) 機械とりこわし 10m²当り単価表：空積

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		表4.3
バックホウ (クローラ型) 運 転	<u>クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³	日		"
計				

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ		機-3	機械損料1→大型ブレーカ 油圧式 <u>通称</u> 1,300kg 級 機械損料2→バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.8m ³
バックホウ (クローラ型)	<u>クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8 m ³	機-1	
バックホウ (クローラ型)	<u>クレーン機能付</u> 排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8 m ³	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →87 機械賃料数量 →1.35

⑤ 骨材再生工 (自走式)

1.・2. [略]

3. 自走式破砕機設置・撤去工

3-1 使用機械
[略]

表 3. 1 使用機械

作業種別	機 種	規 格	単位	数量
自走式破砕機 設置・撤去	自走式破砕機	<u>通称</u> 30 t 級 供給口 <u>寸法</u> 450 mm 幅 925 mm	台	1
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 <u>最大吊上能力</u> 4.9 t 吊	"	1

(注) 1.・2. [略]

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		表4.2
大型ブレーカ運転	油圧式 1,300kg 級 [ベースマシン] 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 <u>山積</u> 0.80m ³ (<u>平積</u> 0.60m ³)	h		"
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 (クレーン機能付) <u>山積</u> 0.80m ³ (<u>平積</u> 0.60m ³)	"		"
諸 雑 費		式		"
計				

(3) 機械とりこわし 10m²当り単価表：空積

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		表4.3
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 (クレーン機能付) <u>山積</u> 0.80m ³ (<u>平積</u> 0.60m ³)	日		"
計				

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ		機-3	機械損料1→大型ブレーカ 油圧式 1,300kg 級 機械損料2→バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)
バックホウ	排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 (クレーン機能付) <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)	機-1	
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 (クレーン機能付) <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³)	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →87 機械賃料数量 →1.35

⑤ 骨材再生工 (自走式)

1.・2. [略]

3. 自走式破砕機設置・撤去工

3-1 使用機械
[略]

表 3. 1 使用機械

作業種別	機 種	規 格	単位	数量
自走式破砕機 設置・撤去	自走式破砕機	<u>機械質量</u> 30 t 級 供給口 <u>開き</u> 450 mm 幅 925 mm	台	1
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	"	1

(注) 1.・2. [略]

3-2・3-3 [略]

4. 骨材再生工

[略]

4-1 使用機械

[略]

表 4. 1 使用機械

作業種別	機 種	規 格	単 位	数 量
殻小割	大型ブレーカ +バックハウ <u>(クローラ型)</u>	油圧式 <u>通称</u> 600~800kg 級 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.6m ³	台	1
殻投入	バックハウ <u>(クローラ型)</u>	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 1.0m ³	〃	1
骨材再生	自走式破砕機	<u>通称</u> 30 t 級 供給口 <u>寸法</u> 450 mm 幅 925 mm	〃	1

(注) 1. ~ 3. [略]

4-2~4-4 [略]

5. 単価表

(1) 自走式破砕機設置 (撤去) 1台1回当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 3. 2
特 殊 作 業 員		〃		〃
自走式破砕機運転	<u>通称</u> 30 t 級 供給口 <u>寸法</u> 450 mm 幅 925 mm	日		〃
トラッククレーン賃 料	油圧伸縮ジブ型 <u>最大吊上能力</u> 4.9 t 吊	〃		〃
諸 雑 費		式	1	表 3. 3
計				

(2) 骨材再生工 100m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	1×100/D	表 4. 2
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃
大 型 ブ レ ー カ + バ ッ ク ホ ウ 運 転 <u>(クローラ型)</u>	油圧式 <u>通称</u> 600~800kg 級 排出ガス対策型 (第3次基準 値) <u>バケット容量</u> 0.6m ³	日	100/D	必要に応じて計上す る
バ ッ ク ホ ウ 運 転 <u>(クローラ型)</u>	排出ガス対策型 (第3次基準 値) クローラ型 <u>バケット容量</u> 1.0m ³	〃	100/D	
自走式破砕機運転	<u>通称</u> 30 t 級 供給口 <u>寸法</u> 450 mm 幅 925 mm	〃	100/D	
諸 雑 費		式	1	表 4. 4

3-2・3-3 [略]

4. 骨材再生工

[略]

4-1 使用機械

[略]

表 4. 1 使用機械

作業種別	機 種	規 格	単 位	数 量
殻小割	大型ブレーカ +バックハウ	油圧式 600~800kg 級 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.6m ³ (<u>平積</u> 0.5m ³)	台	1
殻投入	バックハウ	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 1.0m ³ (<u>平積</u> 0.7m ³)	〃	1
骨材再生	自走式破砕機	<u>機械質量</u> 30 t 級 供給口 <u>開き</u> 450 mm 幅 925 mm	〃	1

(注) 1. ~ 3. [略]

4-2~4-4 [略]

5. 単価表

(1) 自走式破砕機設置 (撤去) 1台1回当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 3. 2
特 殊 作 業 員		〃		〃
自走式破砕機運転	<u>機械質量</u> 30 t 級 供給口 <u>開き</u> 450 mm 幅 925 mm	日		〃
トラッククレーン賃 料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	〃		〃
諸 雑 費		式	1	表 3. 3
計				

(2) 骨材再生工 100m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	1×100/D	表 4. 2
特 殊 作 業 員		〃	1×100/D	〃
大 型 ブ レ ー カ + バ ッ ク ホ ウ 運 転	油圧式 600~800kg 級 排出ガス対策型 (第3次基準 値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.6m ³ (<u>平積</u> 0.5m ³)	日	100/D	必要に応じて計上す る
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第3次基準 値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 1.0m ³ (<u>平積</u> 0.7m ³)	〃	100/D	
自走式破砕機運転	<u>機械質量</u> 30 t 級 供給口 <u>開き</u> 450 mm 幅 925 mm	〃	100/D	
諸 雑 費		式	1	表 4. 4

計				
---	--	--	--	--

(注) [略]

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大 型 プ レ ー カ + バ ッ ク ホ ウ <u>(クローラ型)</u>	[バックホウ] 排出ガス対策型(第3次基準 値) <u>バケツ容量</u> 0.6m ³	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.16
	[大型ブレーカ] (ベースマシン含まず) 油圧式 <u>通称</u> 600~800kg 級		機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.16
バ ッ ク ホ ウ <u>(クローラ型)</u>	排出ガス対策型(第3次基準 値) <u>バケツ容量</u> 1.0m ³	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.13
自 走 式 破 碎 機	<u>通称</u> 30 t 級 供給口 <u>寸法</u> 450 mm 幅 925 mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→1.71

(注) [略]

⑥~⑧ [略]

⑨ ネットフェンス撤去工

1.・2. [略]

3. 機種を選定

アンカーブロックに設置している場合に使用するバックホウの機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機械名	規格
バックホウ <u>(クローラ型)</u>	排出ガス対策型(第3次基準) <u>バケツ容量</u> 0.5m ³

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) ネットフェンス(本体)撤去 20m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 4. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ運転	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 <u>バケツ容量</u> 0.5m ³	日		表 4. 1 基礎状況Bの場合のみ計上
諸 雑 費		式	1	表 4. 1 基礎状況Aかつ処分方法が廃棄の 場合のみ計上
計				

(2) [略]

(3) 機械運転単価表

計				
---	--	--	--	--

(注) [略]

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大 型 プ レ ー カ + バ ッ ク ホ ウ	[バックホウ] 排出ガス対策型(第3次基準 値) <u>クローラ型山積</u> 0.6m ³ (<u>平積</u> <u>0.5m³</u>)	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.16
	[大型ブレーカ] (ベースマシン含まず) 油圧式 600~800kg 級		機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.16
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第3次基準 値) <u>クローラ型山積</u> 1.0m ³ (<u>平積</u> <u>0.7</u> <u>m³</u>)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.13
自 走 式 破 碎 機	<u>機械質量</u> 30 t 級 供給口 <u>開き</u> 450 mm 幅 925 mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→1.71

(注) [略]

⑥~⑧ [略]

⑨ ネットフェンス撤去工

1.・2. [略]

3. 機種を選定

アンカーブロックに設置している場合に使用するバックホウの機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機械名	規格
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.5m ³ (<u>平積</u> <u>0.4m³</u>)

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) ネットフェンス(本体)撤去 20m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 4. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ運転	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 <u>山積</u> 0.5m ³ (<u>平積</u> <u>0.4m³</u>)	日		表 4. 1 基礎状況Bの場合のみ計上
諸 雑 費		式	1	表 4. 1 基礎状況Aかつ処分方法が廃棄の 場合のみ計上
計				

(2) [略]

(3) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 <u>バケット容量</u> 0.5m ³	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →33 機械賃料数量 →1.13

4. 基礎工

① 木杭打込み（機械）

1.・2. [略]

3. 機種を選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3. 1 施工機械

機 械 名	規 格	台 数	備 考
油 圧 プ レ ー カ	バケット容量 0.4m ³ 、アタッチメントのみ	1	
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 <u>バケット容量</u> 0.45m ³	1	ベースマシン

4. [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 プ レ ー カ (バックホウ装着)	バケット容量 0.4m ³	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 37 機械賃料数量 1 → 1.10 排出ガス対策型（第2次基準値） バケット容量(クローラ型 0.45m ³) 機械賃料数量 2 → 1.10 油圧ブレイカ(バケット容量 0.4m ³ 、アタッチメントのみ)

② 中層混合処理工

1.・2. [略]

3. 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			
			改良深(L) 2m<L≤5m	改良深(L) 5m<L≤8m	改良深(L) 8m<L≤10m	改良深(L) 10m<L≤13m
中層混合処理機 トレンチャ式	[ベースマシン] 通称 20t (<u>バケット容量</u> 0.8m ³) 級バケット [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m	台	1	-	-	-

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型(第3次基準) クローラ型 <u>山積</u> 0.5m ³ (<u>平積</u> 0.4m ³)	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →33 機械賃料数量 →1.13

4. 基礎工

① 木杭打込み（機械）

1.・2. [略]

3. 機種を選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3. 1 施工機械

機 械 名	規 格	台 数	備 考
油 圧 プ レ ー カ	バケット容量 0.4m ³ 、アタッチメントのみ	1	
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 <u>山積</u> 0.45m ³ (<u>平積</u> 0.35m ³)	1	ベースマシン

4. [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 プ レ ー カ (バックホウ装着)	バケット容量 0.4m ³	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 37 機械賃料数量 1 → 1.10 排出ガス対策型（第1次基準値） バケット容量(クローラ型 0.45m ³ <u>平積</u> 0.35m ³) 機械賃料数量 2 → 1.10 油圧ブレイカ(バケット容量 0.4m ³ 、アタッチメントのみ)

② 中層混合処理工

1.・2. [略]

3. 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			
			改良深(L) 2m<L≤5m	改良深(L) 5m<L≤8m	改良深(L) 8m<L≤10m	改良深(L) 10m<L≤13m
中層混合処理機 トレンチャ式	[ベースマシン] 20t (<u>山積</u> 0.8m ³) 級バケット [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m	台	1	-	-	-

	[施工管理装置] 1ヒールスプーン用 (第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm					
	[ヘースマシン] 通称 30t (バケット容量 1.4m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置] 1ヒールスプーン用 (第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm	〃	-	1	-	-
	[ヘースマシン] 通称 40t (バケット容量 1.9m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置] 1ヒールスプーン用 (第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm	〃	-	-	1	-
	[ヘースマシン] 通称 40t (バケット容量 1.9m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置] 2ヒールスプーン用 (第1ブーム+第2ブーム用)施工幅0-6,500mm 施工深さ0-13,000mm	〃	-	-	-	1
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリプラント (全自動) プラント練能力 20m³/h	〃				1

4. [略]

5. 施工歩掛

5-1~5-3 [略]

5-4 その他

(1)~(2) [略]

(3) 中層混合処理機及びスラリプラントの分解・組立及び輸送については、「標準歩掛 1.7. 共通仮設①重建設機械分解組立運搬」を適用する。

(4)~(7) [略]

6. 単価表

(1) [略]

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
中層混合処理機 トレンチャ式	ヘースマシン 通称 20t (バケット容量 0.8m³) 級バックホウ 攪拌混合装置 改良深度(標準) 5m 施工管理装置 1ヒールスプーン用 (第1ブーム用)施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0-10,000mm	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →113 機械損料数量 1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量 2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量 3 (施工管理装置) →1.68
	ヘースマシン 通称 30t (バケット容量 1.4m³) 級バックホウ 攪拌混合装置 改良深度(標準) 8m 施工管理装置 1ヒールスプーン用 (第1ブーム用)施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0-10,000mm	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →183 機械損料数量 1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量 2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量 3 (施工管理装置) →1.68

	[施工管理装置] 1ヒールスプーン用					
	[ヘースマシン] 30t (山積 1.4m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置] 1ヒールスプーン用	〃	-	1	-	-
	[ヘースマシン] 40t (山積 1.9m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置] 1ヒールスプーン用	〃	-	-	1	-
	[ヘースマシン] 40t (山積 1.9m³) 級バックホウ [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置] 2ヒールスプーン用	〃	-	-	-	1
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリプラント (全自動) 能力 20m³/h	〃				1

4. [略]

5. 施工歩掛

5-1~5-3 [略]

5-4 その他

(1)~(2) [略]

(3) 中層混合処理機及びスラリプラントの分解・組立及び輸送については、「標準歩掛 1.6. 共通仮設①重建設機械分解組立運搬」を適用する。

(4)~(7) [略]

6. 単価表

(1) [略]

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
中層混合処理機 トレンチャ式	ヘースマシン 20t (山積 0.8m³) 級バックホウ 攪拌混合装置 改良深度(標準) 5m 施工管理装置 1ヒールスプーン用	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →113 機械損料数量 1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量 2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量 3 (施工管理装置) →1.68
	ヘースマシン 30t (山積 1.4m³) 級バックホウ 攪拌混合装置 改良深度(標準) 8m 施工管理装置 1ヒールスプーン用	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →183 機械損料数量 1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量 2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量 3 (施工管理装置) →1.68

	ヘースマシン 通称 40t (バケット容量 1.9m ³) 級バケット 攪拌混合装置 改良深度(標準)10m 施工管理装置 1ヒースプーム用 (第1ブ ーム用)施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0- 10,000mm	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1(ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3(施工管理装置) →1.68
	ヘースマシン 通称 40t (バケット容量 1.9m ³) 級バケット (2ヒースプーム) 攪拌混合装置 改良深度(標準)13m 施工管理装置 2ヒースプーム用 (第1ブ ーム+第2ブーム用)施工幅 0-6,500mm 施工深さ 0-13,000mm	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1(ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3(施工管理装置) →1.68
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) プラント稼働能力 20m ³ /h	機-25	機械損料数量 →1.68

③ 中層混合処理工 (ICT)

1. 適用範囲

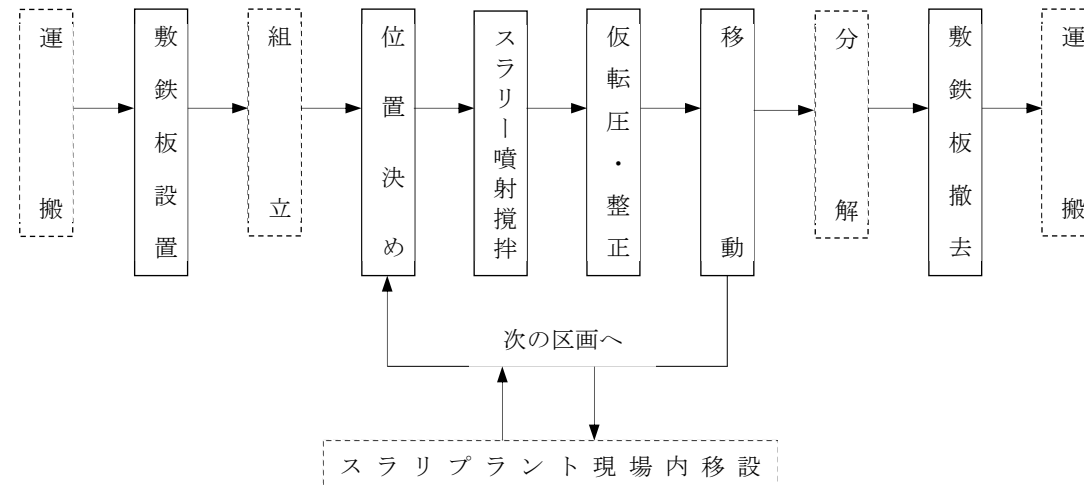
本歩掛は、ICTによる地盤改良工のうち、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う中層混合処理工 (ICT)に適用する。

施工方式は、スラリー噴射方式の機械攪拌混合とする。

改良形式は全面改良とし、改良深度 2mを超え 13m以下の陸上施工に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図 2-1 施工フロー

3. 機種の設定

機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種の設定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			
			改良深(L) 2m<L≤5m	改良深(L) 5m<L≤8m	改良深(L) 8m<L≤10m	改良深(L) 10m<L≤13m
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	[ヘースマシン] 通称 20t (バケット容量 0.8m ³) 級バケット [攪拌混合装置]改良深度(標 準)5m [施工管理装置] 1ヒースプーム用	台	1	2	2	2

	ヘースマシン 40t (山積 1.9m ³) 級バケット 攪拌混合装置 改良深度(標準)10m 施工管理装置 1ヒースプーム用	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1(ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3(施工管理装置) →1.68
	ヘースマシン 40t (山積 1.9m ³) 級バケット (2ヒースプーム) 攪拌混合装置 改良深度(標準)13m 施工管理装置 2ヒースプーム用	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1(ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3(施工管理装置) →1.68
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) 能力 20m ³ /h	機-25	機械損料数量 →1.68

[新設]

	(第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm					
	[ヘースマシン] 通称30t (バケット容量1.4m ³) 級バケット [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置] 1ヒースブーム用 (第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm	//	二	1	二	二
	[ヘースマシン] 通称40t (バケット容量1.9m ³) 級バケット [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置] 1ヒースブーム用 (第1ブーム用)施工幅0-6,400mm 施工深さ0-10,000mm	//	二	二	1	二
	[ヘースマシン] 通称40t (バケット容量1.9m ³) 級バケット (2ヒースブーム) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置] 2ヒースブーム用 (第1ブーム+第2ブーム用)施工幅0-6,500mm 施工深さ0-13,000mm	//	二	二	二	1
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリプラント (全自動) プラント練能力20m ³ /h	//	1			

4. 編成人員

中層混合処理工 (ICT) の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 編成人員 (人)

世話役	特殊作業員	普通作業員
1	1	2

(注) 編成人員には、スラリプラントの管理運転労務を含む。

5. 施工歩掛

5-1 日当り作業量

1日当り作業量は次表を標準とする。

表 5. 1 標準日当り作業量

改良深度(L)m	日当り作業量(m ³ /日)
2m < L ≤ 5m	237
5m < L ≤ 8m	284
8m < L ≤ 10m	323
10m < L ≤ 13m	362

- (注) 1. 日当り作業量は、中層混合処理機 (ICT) の移動 (敷鉄板の設置・撤去含む)、位置決め、スラリー噴射攪拌、仮転圧・整正までの一連の作業のものである。
2. 1工事当りの施工規模が1,000m³未満の場合は、標準日当り作業量に次表の補正係数を乗じるものとする。

表 5. 2 日当り作業量の補正係数

施工規模1,000m ³ 未満	0.8
----------------------------	-----

5-2 改良材使用量

改良材はセメント系固化剤を標準とし、現場条件により決定する。なお、使用量は次式による。

$$V = v \times (1 + k) / 1,000 \quad \dots \dots \dots \text{(式 5. 1)}$$

V : 1 m³ 当りの改良材使用量 (t/m³)

v : 1 m³ 当りの改良材添加量 (kg/m³)

k : ロス率

表 5. 3 ロス率 (k)

ロス率	+0.06
-----	-------

5-3 諸雑費

諸雑費は、足場材（敷鉄板（中層混合処理機（ICT）用・スラリプラント用））の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用（バックホウ運転費用）、攪拌混合装置の損耗材料費（チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費）、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 4 諸雑费率 (%)

改良深度 L	諸雑费率
2 m < L ≤ 5 m	25
5 m < L ≤ 8 m	23
8 m < L ≤ 10 m	24
10 m < L ≤ 13 m	24

5-4 その他

- (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入できない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、別途計上する。
 - 1) 表層に転石等が多い地盤
 - 2) 表層に障害物等のある地盤
- (2) 中層混合処理機（ICT）は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。
- (3) 中層混合処理機（ICT）の分解・組立については、「標準歩掛 1.7. 共通仮設①重建設機械分解組立運搬」の地盤改良機械を適用する。
- (4) スラリプラントを中心に半径約 200m を超える場合、揚程が 5 m を超える場合、又は同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、スラリプラントを移設しなければならない場合は、「標準歩掛 4. 基礎工⑦軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工）5-4 スラリプラント現場内移設歩掛」を適用する。
- (5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。
- (6) 注入材配合用水、機械洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。
- (7) プラント設備の防寒設備が必要な場合は、別途計上する。

6. ICT 建設機械経費等

ICT 建設機械経費として以下の経費を計上する。

6-1 ICT 建設機械経費損料加算額

建設機械に取付ける各種機器及び地上の基地局・管理局の賃貸費用として、機械運転単価表に ICT 建設機械経費損料加算額を必要日数分計上する。

7. 単価表

(1) 中層混合処理機（ICT）100m³ 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	100/D×1	表 4. 1 表 5. 1
特 殊 作 業 員		人	100/D×1	〃
普 通 作 業 員		人	100/D×2	〃
中 層 混 合 処 理 機 (I C T) 運 転		日	100/D	表 3. 1 表 5. 1
スラリプラント運転		日	100/D	表 3. 1 表 5. 1
諸 雑 費		式	1	表 5. 4
改 良 材		t	V×100	式 5. 1

特許料金		式	1	必要に応じて計上
計				

(注) D : 1日当りの作業量 (m³/日)

V : 1m³当りの改良材使用量 (t/m³)

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	ヘースマシン 通称 20t (バケット容量 0.8m ³) 級バケット 攪拌混合装置 改良深度(標準) 5m 施工管理装置 1ヒースプーム用 (第1ブ ーム用) 施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0- 10,000mm	機-36	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →113 機械損料数量1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.68
ICT 建設機械経費 損料加算額			機械損料数量 →1.68
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	ヘースマシン 通称 30t (バケット容量 1.4m ³) 級バケット 攪拌混合装置 改良深度(標準) 8m 施工管理装置 1ヒースプーム用 (第1ブ ーム用) 施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0- 10,000mm	機-36	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →183 機械損料数量1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.68
ICT 建設機械経費 損料加算額			機械損料数量 →1.68
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	ヘースマシン 通称 40t (バケット容量 1.9m ³) 級バケット 攪拌混合装置 改良深度(標準) 10m 施工管理装置 1ヒースプーム用 (第1ブ ーム用) 施工幅 0-6,400mm 施工深さ 0- 10,000mm	機-36	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.68
ICT 建設機械経費 損料加算額			機械損料数量 →1.68
中層混合処理機 (トレンチャ式) (ICT)	ヘースマシン 通称 40t (バケット容量 1.9m ³) 級バケット (2ヒースプーム) 攪拌混合装置 改良深度(標準) 13m 施工管理装置 2ヒースプーム用 (第1ブ ーム+第2ブーム用) 施工幅 0-6,500mm 施工深さ 0-13,000mm	機-36	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →233 機械損料数量1 (ヘースマシン) →1.68 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.68 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.68
ICT 建設機械経費 損料加算額			機械損料数量 →1.68
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) プラント練能力 20m ³ /h	機-25	機械損料数量 →1.68

5. 河川・水路工

① 浚渫工 (バックホウ浚渫船)

1. ~ 3. [略]

4. 浚渫船の運転

4-1 ~ 4-5 [略]

4-6 浚渫土揚土費

土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。

4-6-1 機種を選定

機械・規格は、次表を標準とする。

5. 河川・水路工

① 浚渫工 (バックホウ浚渫船)

1. ~ 3. [略]

4. 浚渫船の運転

4-1 ~ 4-5 [略]

4-6 浚渫土揚土費

土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。

4-6-1 機種を選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 4. 8 機種を選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>バケット容量1.4m³</u>	台	1	
1日当り平均浚渫量 365m ³ を超え645m ³ 以下			"	2	

4-6-2 [略]

4-7 [略]

5.・6. [略]

7. 単価表

(1)～(3) [略]

(4) 浚渫土揚土1日当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>バケット容量1.4m³</u>	日		表4.8 機械損料
計				

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→287 機械損料数量→1.53
	D 2.0m ³		燃料消費量→413 機械損料数量→1.53
引船	鋼製 D300PS 型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→1.52
	鋼製 D500PS 型 40GT		燃料消費量→679 機械損料数量→1.52
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>バケット容量1.4m³</u>	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→144 機械損料数量→1.52

② [略]

6. 管水路工

①・② [略]

③ 強化プラスチック複合管機械布設(たて込み簡易土留)

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。

なお、当該路線内において本管(直管)と連続的に布設する短管及び異形管は、その管長にかかわらず本管と同じ歩掛を用いるものとする。

表 3. 1 強化プラスチック複合管(4.0m管)布設歩掛 (10本当り)

管径	労務人数(人)	機械	使用機械
----	---------	----	------

表 4. 8 機種を選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>山積1.4m³(平積1.0m³)</u>	台	1	
1日当り平均浚渫量 365m ³ を超え645m ³ 以下			"	2	

4-6-2 [略]

4-7 [略]

5.・6. [略]

7. 単価表

(1)～(3) [略]

(4) 浚渫土揚土1日当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>山積1.4m³(平積1.0m³)</u>	日		表4.8 機械損料
計				

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→287 機械損料数量→1.53
	D 2.0m ³		燃料消費量→413 機械損料数量→1.53
引船	鋼製 D300PS 型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→1.52
	鋼製 D500PS 型 40GT		燃料消費量→679 機械損料数量→1.52
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) <u>山積1.4m³(平積1.0m³)</u>	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→144 機械損料数量→1.52

② [略]

6. 管水路工

①・② [略]

③ 強化プラスチック複合管機械布設(たて込み簡易土留)

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。

なお、当該路線内において本管(直管)と連続的に布設する短管及び異形管は、その管長にかかわらず本管と同じ歩掛を用いるものとする。

表 3. 1 強化プラスチック複合管(4.0m管)布設歩掛 (10本当り)

管径	労務人数(人)	機械	使用機械
----	---------	----	------

(mm)	世話役	特殊 作業員	普通 作業員	運転時間 (日)	
200	—	0.76	1.19	1.09	バックホウ (クローラ型) 標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t
250	—	0.80	1.26	1.14	
300	—	0.96	1.31	1.19	
350	—	1.00	1.49	1.24	
400	—	1.03	1.54	1.29	
450	0.27	0.80	1.59	1.33	
500	0.27	0.81	1.63	1.36	
600	0.29	0.87	1.87	1.44	
700	0.30	1.06	2.10	1.50	
800	0.31	1.10	2.20	1.57	
900	0.33	1.14	2.46	1.64	
1,000	0.51	1.36	2.71	1.70	
1,100	0.53	1.41	2.83	1.76	
1,200	0.54	1.64	3.11	1.83	
1,350	0.57	1.71	3.43	1.90	
1,500	0.60	1.99	3.97	1.99	
1,650	0.61	2.07	4.34	2.07	
1,800	0.87	2.39	4.76	2.17	
2,000	0.90	2.71	5.67	2.27	
2,200	0.96	3.10	6.43	2.39	
2,400	1.23	3.70	7.39	2.46	
2,600	1.30	4.16	8.31	2.60	
2,800	1.61	4.86	9.43	2.70	
3,000	1.69	5.33	10.93	2.80	
					ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 最大吊上能力 25t 吊

- (注) 1. [略]
 2. バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
 3. バックホウは、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。
 4. [略]

表 3. 2 強化プラスチック複合管 (6.0m管) 布設歩掛 (10本当り)

管径 (mm)	労務人数 (人)			機 械 運転時間 (日)	使 用 機 械
	世話役	特殊 作業員	普通 作業員		
450	0.27	0.83	1.79	1.37	バックホウ (クローラ型) 標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t
500	0.29	0.99	1.99	1.41	
600	0.46	1.20	2.26	1.50	
700	0.47	1.26	2.67	1.57	
800	0.49	1.47	3.11	1.64	
900	0.51	1.71	3.44	1.71	
1,000	0.71	1.97	3.93	1.79	
1,100	0.73	2.20	4.21	1.83	
1,200	0.76	2.47	4.76	1.90	
1,350	1.00	2.81	5.43	2.01	
1,500	1.06	3.16	6.30	2.10	
					ラフテレーンクレーン

(mm)	世話役	特殊 作業員	普通 作業員	運転時間 (日)	
200	—	0.76	1.19	1.09	バックホウ (クレーン機能付) 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9t 吊
250	—	0.80	1.26	1.14	
300	—	0.96	1.31	1.19	
350	—	1.00	1.49	1.24	
400	—	1.03	1.54	1.29	
450	0.27	0.80	1.59	1.33	
500	0.27	0.81	1.63	1.36	
600	0.29	0.87	1.87	1.44	
700	0.30	1.06	2.10	1.50	
800	0.31	1.10	2.20	1.57	
900	0.33	1.14	2.46	1.64	
1,000	0.51	1.36	2.71	1.70	
1,100	0.53	1.41	2.83	1.76	
1,200	0.54	1.64	3.11	1.83	
1,350	0.57	1.71	3.43	1.90	
1,500	0.60	1.99	3.97	1.99	
1,650	0.61	2.07	4.34	2.07	
1,800	0.87	2.39	4.76	2.17	
2,000	0.90	2.71	5.67	2.27	
2,200	0.96	3.10	6.43	2.39	
2,400	1.23	3.70	7.39	2.46	
2,600	1.30	4.16	8.31	2.60	
2,800	1.61	4.86	9.43	2.70	
3,000	1.69	5.33	10.93	2.80	
					ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t 吊

- (注) 1. [略]
 2. バックホウ (クレーン機能付) 及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
 3. バックホウ (クレーン機能付) は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。
 4. [略]

表 3. 2 強化プラスチック複合管 (6.0m管) 布設歩掛 (10本当り)

管径 (mm)	労務人数 (人)			機 械 運転時間 (日)	使 用 機 械
	世話役	特殊 作業員	普通 作業員		
450	0.27	0.83	1.79	1.37	バックホウ (クレーン機能付) 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9 吊
500	0.29	0.99	1.99	1.41	
600	0.46	1.20	2.26	1.50	
700	0.47	1.26	2.67	1.57	
800	0.49	1.47	3.11	1.64	
900	0.51	1.71	3.44	1.71	
1,000	0.71	1.97	3.93	1.79	
1,100	0.73	2.20	4.21	1.83	
1,200	0.76	2.47	4.76	1.90	
1,350	1.00	2.81	5.43	2.01	
1,500	1.06	3.16	6.30	2.10	
					ラフテレーンクレーン

1,650	1.09	3.46	6.93	2.17	<p style="text-align: center;">油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 最大吊上能力 25t 吊</p>
1,800	1.36	3.86	7.94	2.27	
2,000	1.43	4.53	9.04	2.39	

- (注) 1. [略]
 2. バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
 3. バックホウは、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。
 4. [略]

4. 単価表

(1) 強化プラスチック複合管（4.0m管）布設 10本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
強化プラスチック複合管	○種○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 1 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型（第2次基準値） バケツ容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t	日		〃
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 最大吊上能力 25t 吊	〃		〃
計				

(2) 強化プラスチック複合管（6.0m管）布設 10本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
強化プラスチック複合管	○種○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 2 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 2
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型（第2次基準値） バケツ容量 0.8m ³ 吊能力 2.9 t	日		〃
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 最大吊上能力 25 t 吊	〃		〃
計				

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ（クローラ型）	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型（第2次基準値） バケツ容量 0.8m ³ 吊能力 2.9 t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →48 機械賃料数量 →1.12

④ ダクティル鑄鉄管機械布設（たて込み簡易土留）

- 1.・2. [略]
 3. 機種の選定
 機種を選定は、次表を標準とする。

1,650	1.09	3.46	6.93	2.17	<p style="text-align: center;">排出ガス対策型（第2次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t 吊</p>
1,800	1.36	3.86	7.94	2.27	
2,000	1.43	4.53	9.04	2.39	

- (注) 1. [略]
 2. バックホウ（クレーン機能付）及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
 3. バックホウ（クレーン機能付）は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。
 4. [略]

4. 単価表

(1) 強化プラスチック複合管（4.0m管）布設 10本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
強化プラスチック複合管	○種○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 1 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9t 吊	日		〃
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型（第2次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	〃		〃
計				

(2) 強化プラスチック複合管（6.0m管）布設 10本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
強化プラスチック複合管	○種○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 2 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 2
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バックホウ（クレーン機能付）運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9 t 吊	日		〃
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型（第2次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃		〃
計				

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ（クレーン機能付）	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9 t 吊	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →48 機械賃料数量 →1.12

④ ダクティル鑄鉄管機械布設（たて込み簡易土留）

- 1.・2. [略]
 3. 機種の選定
 機種を選定は、次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械

管径 (mm)	K・T形			ALW形	
	1・2種	3・4種、DA種	DB～DD種	AL1種	AL2種
300未満	バックホウ (クローラ型) 標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第3次基準値) バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t			バックホウ (クローラ型) 標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第3次基準値) バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t	
300					
350					
400					
450					
500					
600					
700	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 最大吊上能力 25t 吊			ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準 値) 最大吊上能力 25t 吊	
800					
900					
1,000					
1,100					
1,200					
1,350					
1,500					
1,600(4m)					
1,600(5m)					
1,650(4m)	ラフテレーンクレーン・油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 最大吊上能力 50t 吊				
1,650(5m)					
1,800(4m)					
1,800(5m)					
2,000(4m)					
2,000(5m)					
2,000(5m)					

ラフテレーンクレーン・油圧伸縮ジブ型
排出ガス対策型 (第2次基準値)
最大吊上能力 50t 吊

- (注) 1. バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2. バックホウは、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。

4. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。
なお、当該路線内において本管 (直管) と連続的に布設する短管及び異形管は、その管長にかかわらず本管と同じ歩掛を用いるものとする。

表 4. 1 ダクタイル鋳鉄管布設歩掛 (たて込み簡易土留) (1本当り)

管径 (mm)	管長 (m)	K形				T形・ALW形			
		世話役	特殊作業員	普通作業員	機械運転時間	世話役	特殊作業員	普通作業員	機械運転時間
		(人)				(日)			
150	5.0	0.06	0.24	0.32	0.28	0.04	0.18	0.22	0.20
200	"	0.08	0.28	0.38	"	"	0.20	0.26	0.22
250	"	0.10	0.30	0.40	0.30	"	0.22	0.28	"

表 3. 1 使用機械

管径 (mm)	K・T形			[新設]	
	1・2種	3・4種、DA種	DB～DD種	[新設]	[新設]
300未満	バックホウ (クレーン機能付) 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9t 吊			[新設]	
300					
350					
400					
450					
500					
600					
700	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t 吊			[新設]	
800					
900					
1,000					
1,100					
1,200					
1,350					
1,500					
1,600(4m)					
1,600(5m)					
1,650(4m)	ラフテレーンクレーン・油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 最大吊上能力 50t 吊			[新設]	
1,650(5m)					
1,800(4m)					
1,800(5m)					
2,000(4m)					
2,000(5m)					
2,000(5m)					

ラフテレーンクレーン
排出ガス対策型 (第2次基準値)
(油圧伸縮ジブ型) 50t 吊

- (注) 1. バックホウ (クレーン機能付) 及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。
2. バックホウ (クレーン機能付) は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。

4. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。
なお、当該路線内において本管 (直管) と連続的に布設する短管及び異形管は、その管長にかかわらず本管と同じ歩掛を用いるものとする。

表 4. 1 ダクタイル鋳鉄管布設歩掛 (1本当り)

管径 (mm)	管長 (m)	K形				T形			
		世話役	特殊作業員	普通作業員	機械運転時間	世話役	特殊作業員	普通作業員	機械運転時間
		(人)				(日)			
150	5.0	0.06	0.24	0.32	0.28	0.04	0.18	0.22	0.20
200	"	0.08	0.28	0.38	"	"	0.20	0.26	0.22
250	"	0.10	0.30	0.40	0.30	"	0.22	0.28	"

300	6.0	〃	0.36	0.46	0.32	0.08	0.26	0.30	0.24
350	〃	〃	0.40	0.50	0.34	〃	0.28	0.34	〃
400	〃	〃	0.42	0.52	0.36	〃	〃	0.36	0.26
450	〃	〃	0.44	0.58	〃	〃	0.32	0.38	〃
500	〃	0.12	0.50	0.60	0.38	〃	〃	0.40	〃
600	〃	0.16	0.64	0.80	0.40	〃	0.36	0.46	0.28
700	〃	0.20	0.84	1.04	0.42	〃	0.38	0.50	〃
800	〃	0.26	1.02	1.28	0.44	0.12	0.42	0.54	0.30
900	〃	0.32	1.26	1.58	0.46	〃	0.46	0.56	0.32
1,000	〃	0.38	1.48	1.86	0.48	〃	0.48	0.62	〃
1,100	〃	0.46	1.76	2.20	0.50	0.14	0.52	0.66	〃
1,200	〃	0.52	2.06	2.58	0.52	〃	0.54	0.68	0.34
1,350	〃	0.66	2.56	3.22	0.56	〃	0.60	0.74	0.36
1,500	〃	0.74	3.02	3.78	0.58	〃	0.62	0.80	〃
1,600	4.0	0.64	2.58	3.24	〃	〃	〃	0.78	0.38
〃	5.0	0.76	3.00	3.76	〃	〃	〃	0.82	〃
1,650	4.0	0.72	2.78	3.52	0.60	0.16	0.64	0.80	〃
〃	5.0	0.78	3.22	4.06	〃	〃	〃	0.84	〃
1,800	4.0	0.82	3.26	〃	0.62	〃	0.66	〃	〃
〃	5.0	0.94	3.76	4.68	〃	〃	0.70	〃	〃
2,000	4.0	1.00	4.06	5.06	0.66	0.20	0.72	0.92	0.40
〃	5.0	1.20	4.74	5.94	〃	〃	0.76	〃	〃

(注) 1. 布設に伴う材料の移動手間及び切梁盛替え作業を含む。
2. ・3. [略]

5. 単価表

(1) ダクタイル鋳鉄管布設1本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ダクタイル鋳鉄管	〇形〇種〇〇mm	本	1	
鋳鉄管接合部品		組	1	K形の場合
諸雑費		式	1	表4.1(注)2
世話役		人		表4.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ(クローラ型)運	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.8m ³ 吊能力2.9t	日		表3.1、表4.1
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 最大吊上能力〇〇t吊	〃		〃
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
-----	----	-------	------

300	6.0	〃	0.36	0.46	0.32	0.08	0.26	0.30	0.24
350	〃	〃	0.40	0.50	0.34	〃	0.28	0.34	〃
400	〃	〃	0.42	0.52	0.36	〃	〃	0.36	0.26
450	〃	〃	0.44	0.58	〃	〃	0.32	0.38	〃
500	〃	0.12	0.50	0.60	0.38	〃	〃	0.40	〃
600	〃	0.16	0.64	0.80	0.40	〃	0.36	0.46	0.28
700	〃	0.20	0.84	1.04	0.42	〃	0.38	0.50	〃
800	〃	0.26	1.02	1.28	0.44	0.12	0.42	0.54	0.30
900	〃	0.32	1.26	1.58	0.46	〃	0.46	0.56	0.32
1,000	〃	0.38	1.48	1.86	0.48	〃	0.48	0.62	〃
1,100	〃	0.46	1.76	2.20	0.50	0.14	0.52	0.66	〃
1,200	〃	0.52	2.06	2.58	0.52	〃	0.54	0.68	0.34
1,350	〃	0.66	2.56	3.22	0.56	〃	0.60	0.74	0.36
1,500	〃	0.74	3.02	3.78	0.58	〃	0.62	0.80	〃
1,600	4.0	0.64	2.58	3.24	〃	〃	〃	0.78	0.38
〃	5.0	0.76	3.00	3.76	〃	〃	〃	0.82	〃
1,650	4.0	0.72	2.78	3.52	0.60	0.16	0.64	0.80	〃
〃	5.0	0.78	3.22	4.06	〃	〃	〃	0.84	〃
1,800	4.0	0.82	3.26	〃	0.62	〃	0.66	〃	〃
〃	5.0	0.94	3.76	4.68	〃	〃	0.70	〃	〃
2,000	4.0	1.00	4.06	5.06	0.66	0.20	0.72	0.92	0.40
〃	5.0	1.20	4.74	5.94	〃	〃	0.76	〃	〃

(注) 1. 布設に伴う材料の移動手間を含む。
2. ・3. [略]

5. 単価表

(1) ダクタイル鋳鉄管布設1本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ダクタイル鋳鉄管	〇種〇〇mm	本	1	
鋳鉄管接合部品		組	1	K形の場合
諸雑費		式	1	表4.1(注)2
世話役		人		表4.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ(クレーン機能付)運	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日		表3.1、表4.1
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 〇〇t吊	〃		〃
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
-----	----	-------	------

バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第3次基準値) バケット容量0.8m ³ 吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→48 機械賃料数量→1.12
---------------	---	------	--

⑤ 鋼管機械布設 (小口径)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

鋼管の吊込据付に使用する機種は次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械

機種	規格
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力4.9t吊

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) 鋼管機械吊込据付1日 (N本) 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼管		本	N	表4.1又は表4.2
世話役		人		表4.3
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力4.9t吊	日	1	表3.1
計				

(注) [略]

(2) [略]

⑥ 高密度ポリエチレン管機械布設

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 1 高密度ポリエチレン管機械布設歩掛 (100m当り)

材料	労務歩掛 (人)			使用機械	
	世話役	特殊作業員	普通作業員	運転日数 (日)	規格
呼び径 (mm)					標準型 クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量0.45m ³ 吊能力2.9t
600	0.82	2.05	2.98	1.52	
700	0.98	2.45	3.56	1.85	
800	1.14	2.85	4.16	2.18	
900	1.31	3.27	4.75	2.53	
1,000	1.48	3.69	5.37	2.89	

(注) 1. [略]

2. バックホウは、賃料とする。

3. バックホウは、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。

4. 単価表

バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→48 機械賃料数量→1.12
-----------------	---	------	--

⑤ 鋼管機械布設 (小口径)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

鋼管の吊込据付に使用する機種は次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械

機種	規格
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) 鋼管機械吊込据付1日 (N本) 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
鋼管		本	N	表4.1又は表4.2
世話役		人		表4.3
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	1	表3.1
計				

(注) [略]

(2) [略]

⑥ 高密度ポリエチレン管機械布設

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

布設歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 1 高密度ポリエチレン管機械布設歩掛 (100m当り)

材料	労務歩掛 (人)			使用機械	
	世話役	特殊作業員	普通作業員	運転日数 (日)	規格
呼び径 (mm)					排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 2.9t吊
600	0.82	2.05	2.98	1.52	
700	0.98	2.45	3.56	1.85	
800	1.14	2.85	4.16	2.18	
900	1.31	3.27	4.75	2.53	
1,000	1.48	3.69	5.37	2.89	

(注) 1. [略]

2. バックホウ (クレーン機能付) は、賃料とする。

3. バックホウ (クレーン機能付) は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。

4. 単価表

(1) 高密度ポリエチレン管機械布設 100m当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
高密度ポリエチレン管	〇〇管〇〇mm	m	100	
世話役		人		表3.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.45m ³ 吊能力 2.9 t	日		〃
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.45m ³ 吊能力 2.9 t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →28 機械賃料数量 →1.33

⑦ [略]

7. 道路工

①・② [略]

③ 砂利舗装工

1. ~3. [略]

4. 作業歩掛

4-1 機械敷均し

[略]

4-1-1 機種を選定

機種は、次表を標準とする。

表4.1 適用機種

機種	規格
バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.28m ³
小型バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケット容量 0.13m ³

4-1-2 [略]

4-2・4-3 [略]

5. [略]

6. 単価表

(1) 砂利舗装工 (機械) 100m²当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表4.2
普通作業員		〃		〃

(1) 高密度ポリエチレン管機械布設 100m当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
高密度ポリエチレン管	〇〇管〇〇mm	m	100	
世話役		人		表3.1
特殊作業員		〃		〃
普通作業員		〃		〃
バックホウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	日		〃
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →28 機械賃料数量 →1.33

⑦ [略]

7. 道路工

①・② [略]

③ 砂利舗装工

1. ~3. [略]

4. 作業歩掛

4-1 機械敷均し

[略]

4-1-1 機種を選定

機種は、次表を標準とする。

表4.1 適用機種

機種	規格
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)
小型バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.13m ³ (平積 0.10m ³)

4-1-2 [略]

4-2・4-3 [略]

5. [略]

6. 単価表

(1) 砂利舗装工 (機械) 100m²当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表4.2
普通作業員		〃		〃

舗 設 材		m ³		式 5. 1
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケツ容量0.28m ³	h		表 4. 2
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケツ容量0.13m ³	日		〃
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第3次基準値) コンバインド型 3～5t	〃		表 4. 4 必要に応じて計上する
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
計				

(2) [略]

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケツ容量0.28m ³	機-1	
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) バケツ容量0.13m ³	機-30	運転時間=5.7hr/日
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第3次基準値) コンバインド型 3～5t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →21 機械賃料数量 →2.38
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	機-31	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →4.1 機械賃料数量 →1.59

8. ほ場整備工

①・② [略]

③ 弾丸暗渠工

1. [略]

2. 機種の選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種選定の選定

機 械 名	規 格
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通 通称3t級

3. [略]

4. 単価表

(1) 弾丸暗渠工 (ブルドーザ普通3t級) 1ha 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要

舗 設 材		m ³		式 5. 1
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	h		表 4. 2
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	日		〃
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) コンバインド型 3～4t	〃		表 4. 4 必要に応じて計上する
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	〃		〃
計				

(2) [略]

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	機-1	
小 型 バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.13m ³ (平積0.10m ³)	機-30	運転時間=5.7hr/日
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第2次基準値) コンバインド型 3～4t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →21 機械賃料数量 →2.38
〃	ハンドガイド式 0.5～0.6t	機-31	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →4.1 機械賃料数量 →1.59

8. ほ場整備工

①・② [略]

③ 弾丸暗渠工

1. [略]

2. 機種の選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種選定の選定

機 械 名	規 格
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級

3. [略]

4. 単価表

(1) 弾丸暗渠工 (ブルドーザ普通3t級) 1ha 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要

ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通 通称3t級	h	Th	
軽作業員		人	$(0.61/T) \times Th$	表3.1
雑材料費		式	1	表3.2
計				

(2) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ	排出ガス対策型(第2次基準値) 普通 通称3t級	機-1	

9. 農地造成工

① 人力刈払後の集積

1.・2. [略]

3. 機種の設定

刈払後の集積・積込に使用する機種、規格は次表を標準とする。

表3.1 機種の設定

機械名	規格
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.45 m ³ 掴み装置0.7m級 開口幅1.7~2.0m

4. [略]

5. 単価表

(1) 人力刈払後の集積 10a 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.45 m ³ 掴み装置0.7m級 開口幅1.7~2.0m	h	10.1	

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 0.45 m ³ 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量 →0.15 燃料消費量 →8.6 機械損料 1 →掴み装置 (0.7m級) 開口幅1.7~2.0m 機械損料 2 →バックホウ (排出ガス 対策型 (2次)) <u>バケット容量</u> 0.45 m ³

ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	h	Th	
軽作業員		人	$(0.61/T) \times Th$	表3.1
雑材料費		式	1	表3.2
計				

(2) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	機-1	

9. 農地造成工

① 人力刈払後の集積

1.・2. [略]

3. 機種の設定

刈払後の集積・積込に使用する機種、規格は次表を標準とする。

表3.1 機種の設定

機械名	規格
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 0.45 m ³ <u>(平積0.35 m³)</u> 掴み装置0.7m級 開口幅1.7~2.0m

4. [略]

5. 単価表

(1) 人力刈払後の集積 10a 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 0.45 m ³ <u>(平積0.35 m³)</u> 掴み装置0.7m級 開口幅1.7~2.0m	h	10.1	

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
掴み装置付 バックホウ (クローラ型)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 0.45 m ³ <u>(平積0.35 m³)</u> 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量 →0.15 燃料消費量 →8.6 機械損料 1 →掴み装置 (0.7m級) 開口幅1.7~2.0m 機械損料 2 →バックホウ (排出ガス 対策型 (2次)) <u>山積</u> 0.45 m ³ <u>(平積0.35 m³)</u>

② ブルドーザ畑面整地工

1. [略]

2. 機種の選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種選定の選定

機 械 名	規 格
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 11 t 級
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 15 t 級
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 21 t 級
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 32 t 級

(注) [略]

① [略]

②改良山成畑・斜面畑・階段畑：基盤造成のブルドーザによる土工量が5,000m³未満の場合普通通称15 t 級、5,000m³～30,000m³未満の場合普通通称21 t 級、30,000m³以上の場合普通通称32 t 級を適用する。

3. 施工歩掛

[略]

3-1 [略]

3-2 作業効率 (E)

[略]

3-2-1 [略]

3-2-2 機械係数 (E₂)

表 3. 2 機械係数

ブルドーザ規格	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>通称</u> 11 t 級	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>通称</u> 15 t 級	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>通称</u> 21 t 級	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>通称</u> 32 t 級
E ₂	1.10	1.00	1.00	0.80

3-3～3-5 [略]

4. 単価表

(1)ブルドーザ畑面整地工1ha 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>通称</u> ○○ t 級	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
普通作業員		人		表 3. 3
計				

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 11 t 級	機-1	
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 15 t 級		
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 21 t 級		
	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通 <u>通称</u> 32 t 級		

② ブルドーザ畑面整地工

1. [略]

2. 機種の選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種選定の選定

機 械 名	規 格
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 11 t 級
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 15 t 級
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 21 t 級
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 32 t 級

(注) [略]

① [略]

②改良山成畑・斜面畑・階段畑：基盤造成のブルドーザによる土工量が5,000m³未満の場合普通15 t 級、5,000m³～30,000m³未満の場合普通21 t 級、30,000m³以上の場合普通32 t 級を適用する。

3. 施工歩掛

[略]

3-1 [略]

3-2 作業効率 (E)

[略]

3-2-1 [略]

3-2-2 機械係数 (E₂)

表 3. 2 機械係数

ブルドーザ規格	排出ガス対策型 (第1次基準値) 11 t 級	排出ガス対策型 (第1次基準値) 15 t 級	排出ガス対策型 (第1次基準値) 21 t 級	排出ガス対策型 (第1次基準値) 32 t 級
E ₂	1.10	1.00	1.00	0.80

3-3～3-5 [略]

4. 単価表

(1)ブルドーザ畑面整地工1ha 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ○○ t 級	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
普通作業員		人		表 3. 3
計				

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 11 t 級	機-1	
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 15 t 級		
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 21 t 級		
	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 32 t 級		

10. トンネル工

① 岩トンネル（機械掘削工法）

1. ～4. [略]

5. 掘削及び支保工

5-1 [略]

5-2 掘削機械歩掛

掘削等機械の機種、規格は、次表を標準とする。
実情に合わない場合は現場条件等に即して別途積算すること。

表 5. 3 機種の選定 (台)

施工区分	機種	規格	台数	摘要
掘削	掘削機	自由断面トンネル掘削機 カッタヘッド 30～49kW	1	
ズリ出し	ズリ鋼車	エアバッグ式 積載容量 3.0m ³	1	設計掘削断面積 8.0m ² 未満 かつ片押延長 800m以下
		エアバッグ式 積載容量 4.5m ³	1	設計掘削断面積 8.0m ² 以上 かつ片押延長 800m以下
	シャトルカー	1	通称(積載容量) 15m ³ 級 片押延長 800m超	
	バッテリー機関車	通称 6.0t 級	1	片押延長 800m以下
通称 8.0t 級		1	片押延長 800m超	

(注) [略]

表 5. 4 [略]

5-3～5-5 [略]

6. ～8. [略]

9. 単価表

岩トンネル（機械掘削工法）

(1) 掘削工及び支保工 1m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
トンネル世話役	坑内	人		表 5. 2
トンネル特殊工	〃	〃		〃
トンネル作業員	〃	〃		〃
普通作業員	坑外	〃		〃
電工	〃	〃		〃
自由断面トンネル掘削機 運	カッタヘッド 30～49kW	週		表 5. 3×表 5. 4 機械運転単価表×5
バッテリー機関車運転	通称 6.0t 級	〃		〃
〃	通称 8.0t 級	〃		〃
ズリ鋼車運転	エアバッグ式	〃		〃
シャトルカー運転	通称(積載容量) 15m ³ 級	〃		〃

10. トンネル工

① 岩トンネル（機械掘削工法）

1. ～4. [略]

5. 掘削及び支保工

5-1 [略]

5-2 掘削機械歩掛

掘削等機械の機種、規格は、次表を標準とする。
実情に合わない場合は現場条件等に即して別途積算すること。

表 5. 3 機種の選定 (台)

施工区分	機種	規格	台数	摘要
掘削	掘削機	自由断面トンネル掘削機 カッタヘッド 30～49kW	1	
ズリ出し	ズリ鋼車	エアバッグ式 積載容量 3.0m ³	1	設計掘削断面積 8.0m ² 未満 かつ片押延長 800m以下
		エアバッグ式 積載容量 4.5m ³	1	設計掘削断面積 8.0m ² 以上 かつ片押延長 800m以下
	シャトルカー	1	15m ³ 級 片押延長 800m超	
	バッテリー機関車	機械質量 6.0t	1	片押延長 800m以下
機械質量 8.0t		1	片押延長 800m超	

(注) [略]

表 5. 4 [略]

5-3～5-5 [略]

6. ～8. [略]

9. 単価表

岩トンネル（機械掘削工法）

(1) 掘削工及び支保工 1m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
トンネル世話役	坑内	人		表 5. 2
トンネル特殊工	〃	〃		〃
トンネル作業員	〃	〃		〃
普通作業員	坑外	〃		〃
電工	〃	〃		〃
自由断面トンネル掘削機 運	カッタヘッド 30～49kW	週		表 5. 3×表 5. 4 機械運転単価表×5
バッテリー機関車運転	機械質量 6.0t	〃		〃
〃	機械質量 8.0t	〃		〃
ズリ鋼車運転	エアバッグ式	〃		〃
シャトルカー運転	15m ³ 級	〃		〃

鋼製支保工		基		表 5. 5
諸雑費		式	1	表 5. 6
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

①片押延長 800m以下

機械名	規格	適用単価表	指定事項
自由断面トンネル掘削機	カッタヘッド 30~49kW	機-25	使用電力量 →233 機械損料数量 →1.60
バッテリー機関車	通称 6.0t 級	〃	使用電力量 →453 機械損料数量 →1.64
ズリ鋼車	エアバッグ式 3.0m ³	〃	機械損料数量 →1.46
〃	エアバッグ式 4.5m ³	〃	機械損料数量 →1.46

②片押延長 800m超 2,000m以下

機械名	規格	適用単価表	指定事項
自由断面トンネル掘削機	カッタヘッド 30~49kW	機-25	使用電力量 →216 機械損料数量 →1.41
バッテリー機関車	通称 8.0t 級	〃	使用電力量 →523 機械損料数量 →1.56
シャトルカー	通称 (積載容量) 15m ³ 級	〃	使用電力量 →105 機械損料数量 →1.67

② 土砂トンネル (人力掘削工法)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

3-1 [略]

3-2 掘削機械歩掛

掘削等機械の機種、規格は、次表を標準とする。

実情に合わない場合は現場条件等に即して別途積算すること。

表 3. 3 機種を選定 (台)

施工区分	機種	規格	台数	摘要
掘削	空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量 5.2~6.1m ³ /min	1	
	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力 70m ³ /hr	1	
ズリ出し	バッテリー機関車	通称 4.0t 級	1	
	ズリ鋼車	側開転倒式 積載容量 2.0m ³	1	

表 3. 4 [略]

3-3・3-4 [略]

鋼製支保工		基		表 5. 5
諸雑費		式	1	表 5. 6
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

①片押延長 800m以下

機械名	規格	適用単価表	指定事項
自由断面トンネル掘削機	カッタヘッド 30~49kW	機-25	使用電力量 →233 機械損料数量 →1.60
バッテリー機関車	機械質量 6.0 t	〃	使用電力量 →453 機械損料数量 →1.64
ズリ鋼車	エアバッグ式 3.0m ³	〃	機械損料数量 →1.46
〃	エアバッグ式 4.5m ³	〃	機械損料数量 →1.46

②片押延長 800m超 2,000m以下

機械名	規格	適用単価表	指定事項
自由断面トンネル掘削機	カッタヘッド 30~49kW	機-25	使用電力量 →216 機械損料数量 →1.41
バッテリー機関車	機械質量 8.0 t	〃	使用電力量 →523 機械損料数量 →1.56
シャトルカー	15m ³ 級	〃	使用電力量 →105 機械損料数量 →1.67

② 土砂トンネル (人力掘削工法)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

3-1 [略]

3-2 掘削機械歩掛

掘削等機械の機種、規格は、次表を標準とする。

実情に合わない場合は現場条件等に即して別途積算すること。

表 3. 3 機種を選定 (台)

施工区分	機種	規格	台数	摘要
掘削	空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量 5.2~6.1m ³ /min	1	
	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力 70m ³ /hr	1	
ズリ出し	バッテリー機関車	機械質量 4.0t	1	
	ズリ鋼車	側開転倒式 積載容量 2.0m ³	1	

表 3. 4 [略]

3-3・3-4 [略]

4. ～6. [略]

7. 単価表

土砂トンネル（人力掘削工法）

(1) 掘削工及び支保工1m当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
トンネル世話役	坑内	人		表3.2
トンネル特殊工	〃	〃		〃
トンネル作業員	〃	〃		〃
特殊作業員	坑外	〃		〃
普通作業員	〃	〃		〃
電工	〃	〃		〃
ズリ積機運転	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	週		表3.3×表3.4 機械運転単価表×5
バッテリー機関車運転	通称4.0t級	〃		〃
ズリ鋼車運転	側開転倒式 2.0m ³	〃		〃
空気圧縮機運転	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃		〃
鋼製支保工		基		表3.5
諸雑費		式	1	表3.6
計				

(2) 機械運転単価表

①掘削難～中位

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	機-25	使用電力量→48 機械損料数量→1.00
バッテリー機関車	通称4.0t級	〃	使用電力量→62 機械損料数量→1.03
空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃	使用電力量→155 機械損料数量→1.41
ズリ鋼車	側開転倒式 2.0m ³	〃	機械損料数量→1.46

②掘削容易

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	機-25	使用電力量→58 機械損料数量→1.06
バッテリー機関車	通称4.0t級	〃	使用電力量→75 機械損料数量→1.09
空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃	使用電力量→127 機械損料数量→1.28
ズリ鋼車	側開転倒式 2.0m ³	〃	機械損料数量→1.46

③ トンネル（裏込め注入工）

1. ～5. [略]

4. ～6. [略]

7. 単価表

土砂トンネル（人力掘削工法）

(1) 掘削工及び支保工1m当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
トンネル世話役	坑内	人		表3.2
トンネル特殊工	〃	〃		〃
トンネル作業員	〃	〃		〃
特殊作業員	坑外	〃		〃
普通作業員	〃	〃		〃
電工	〃	〃		〃
ズリ積機運転	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	週		表3.3×表3.4 機械運転単価表×5
バッテリー機関車運転	機械質量 4.0t	〃		〃
ズリ鋼車運転	側開転倒式 2.0m ³	〃		〃
空気圧縮機運転	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃		〃
鋼製支保工		基		表3.5
諸雑費		式	1	表3.6
計				

(2) 機械運転単価表

①掘削難～中位

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	機-25	使用電力量→48 機械損料数量→1.00
バッテリー機関車	機械質量 4.0t	〃	使用電力量→62 機械損料数量→1.03
空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃	使用電力量→155 機械損料数量→1.41
ズリ鋼車	側開転倒式 2.0m ³	〃	機械損料数量→1.46

②掘削容易

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ズリ積機	クローラ式 バックホウ型 コンベア能力70m ³ /hr	機-25	使用電力量→58 機械損料数量→1.06
バッテリー機関車	機械質量 4.0t	〃	使用電力量→75 機械損料数量→1.09
空気圧縮機	定置式 スクリュー型 吐出量5.2～6.1m ³ /min	〃	使用電力量→127 機械損料数量→1.28
ズリ鋼車	側開転倒式 2.0m ³	〃	機械損料数量→1.46

③ トンネル（裏込め注入工）

1. ～5. [略]

④ トンネル仮設備

1. 仮設電気設備

1-1~1-5 [略]

1-2-1~1-3-3 [略]

1-3-4 坑口及び坑内分電盤（単相2線式）

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 坑口及び坑内分電盤（単相2線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW まで								摘 要	
		1.5	3	6	10	20	30	40			
労務	トンネル特殊工	人	0.67	0.67	0.96	1.23	2.22	2.81	2.93		
材料	漏電しゃ断器	規格	2P 15A	2P 30A	2P 60A	2P 100A	2P 200A	2P 300A	2P 400A	損料	
	屋外スイッチボックス	個	1								〃
	電線 I V	規格	1.6mm	2.0mm	8mm ²	22mm ²	60mm ²	150mm ²	200mm ²	〃	
		m	10								
	電線管 <u>H I V E</u>	規格	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
本		1									
雑 品	%	0.5									

(注) [略]

4. [略]

1-3-5 坑口及び坑内分電盤（単相3線式、三相3線式）

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 坑口及び坑内分電盤（単相3線式、三相3線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW まで								摘 要	
		単相3線式		三相3線式							
		3	6	12	20	40	60	80			
労務	トンネル特殊工	人	0.80	0.80	1.14	1.41	2.52	3.18	3.30		
材料	漏電しゃ断器	規格	3P 30A	3P 30A	3P 60A	3P 100A	3P 225A	3P 400A	3P 400A	損料	
	屋外スイッチボックス	個	1								〃
	電線 I V	規格	1.6mm	2.0mm	8mm ²	22mm ²	60mm ²	150mm ²	200mm ²	〃	
		m	15								
	電線管 <u>H I V E</u>	規格	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
本		1									
雑 品	%	0.5									

(注) [略]

4. [略]

⑤ その他

1. トンネル排水溝掘削

1-1・1-2 [略]

1-3 施工歩掛

④ トンネル仮設備

1. 仮設電気設備

1-1~1-5 [略]

1-2-1~1-3-3 [略]

1-3-4 坑口及び坑内分電盤（単相2線式）

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 坑口及び坑内分電盤（単相2線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW まで								摘 要	
		1.5	3	6	10	20	30	40			
労務	トンネル特殊工	人	0.67	0.67	0.96	1.23	2.22	2.81	2.93		
材料	漏電しゃ断器	規格	2P 15A	2P 30A	2P 60A	2P 100A	2P 200A	2P 300A	2P 400A	損料	
	屋外スイッチボックス	個	1								〃
	電線 I V	規格	1.6mm	2.0mm	8mm ²	22mm ²	60mm ²	150mm ²	200mm ²	〃	
		m	10								
	電線管 <u>V E</u>	規格	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
本		1									
雑 品	%	0.5									

(注) [略]

4. [略]

1-3-5 坑口及び坑内分電盤（単相3線式、三相3線式）

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 坑口及び坑内分電盤（単相3線式、三相3線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW まで								摘 要	
		単相3線式		三相3線式							
		3	6	12	20	40	60	80			
労務	トンネル特殊工	人	0.80	0.80	1.14	1.41	2.52	3.18	3.30		
材料	漏電しゃ断器	規格	3P 30A	3P 30A	3P 60A	3P 100A	3P 225A	3P 400A	3P 400A	損料	
	屋外スイッチボックス	個	1								〃
	電線 I V	規格	1.6mm	2.0mm	8mm ²	22mm ²	60mm ²	150mm ²	200mm ²	〃	
		m	15								
	電線管 <u>V E</u>	規格	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
本		1									
雑 品	%	0.5									

(注) [略]

4. [略]

⑤ その他

1. トンネル排水溝掘削

1-1・1-2 [略]

1-3 施工歩掛

表 1. 1 トンネル排水溝掘削 (10m³当り)

区分	名 称	規 格	単位	軟岩 (I)	軟岩 (II)	中硬岩	硬岩 (I)
労務	トンネル特殊工		人	2.6	3.3	4.6	7.5
	トンネル作業員		〃	1.3	1.7	2.3	3.8
機械	削 岩 機 損 料	コンクリートブレーカ <u>通称</u> 20kg 級	日	1.7	2.2	3.2	5.2
諸 雑 費			%	7			

(注) [略]

1-4 単価表

トンネル排水溝掘削 10m³当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
トンネル特殊工		人		表 1. 1
トンネル作業員		〃		〃
削 岩 機 損 料	コンクリートブレーカ <u>通称</u> 20kg 級	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

2. ~5. [略]

13. 仮 設 工

① 瀝青材散布

1. ・ 2. [略]

3. 機種を選定

瀝青材散布に使用する機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

作業種別	機 械 名	規 格
瀝青材散布	アスファルトエンジン ブレーヤ ガソリンエンジン駆動	車載式 2.6kW 250 /min
	[削る。]	[削る。]

[削る。]

4. 散布能力

瀝青材散布作業の時間当り散布量は次表を標準とする。

表 4. 1 時間当り散布量 (ℓ/h)

機 種	規 格	時間当り散布 量	摘 要
アスファルトエンジン ブ レ ー ヤ ガソリンエンジン駆動	車載式 2.6kW 250/min	143	
[削る。]	[削る。]	[削る。]	

表 4. 2 補正係数 (K) [略]

表 1. 1 トンネル排水溝掘削 (10m³当り)

区分	名 称	規 格	単位	軟岩 (I)	軟岩 (II)	中硬岩	硬岩 (I)
労務	トンネル特殊工		人	2.6	3.3	4.6	7.5
	トンネル作業員		〃	1.3	1.7	2.3	3.8
機械	削 岩 機 損 料	コンクリートブレーカ 20kg 級	日	1.7	2.2	3.2	5.2
諸 雑 費			%	7			

(注) [略]

1-4 単価表

トンネル排水溝掘削 10m³当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
トンネル特殊工		人		表 1. 1
トンネル作業員		〃		〃
削 岩 機 損 料	コンクリートブレーカ 20kg 級	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

2. ~5. [略]

13. 仮 設 工

① 瀝青材散布

1. ・ 2. [略]

3. 機種を選定

瀝青材散布に使用する機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

作業種別	機 械 名	規 格
瀝青材散布	アスファルトエンジン ブレーヤ	車載式 2.6kW 250 /min
	<u>ディストリビュータ</u>	<u>自走式(トラック架装 式) 2,000~3,000ℓ</u>

(注) ディストリビュータは、幅員 3.0m 以上の場合に適用できる。

4. 散布能力

瀝青材散布作業の時間当り散布量は次表を標準とする。

表 4. 1 時間当り散布量 (ℓ/h)

機 種	規 格	時間当り散布 量	摘 要
アスファルトエンジン ブ レ ー ヤ	車載式 2.6kW 250/min	143	
<u>ディストリビュータ</u>	<u>自走式(トラック架装 式) 2,000~3,000ℓ</u>	<u>661</u>	

表 4. 2 補正係数 (K) [略]

5. 作業歩掛

5-1 瀝青材・養生砂散布歩掛
[略]

表 5. 1 瀝青材・養生砂散布の作業歩掛 (人/100m²)

施工機械	職 種	作 業 歩 掛
アスファルトエンジン プレーヤ	世話役	0.17
ガソリンエンジン駆動	特殊作業員	0.17
	普通作業員	0.20
[削る。]	[削る。]	[削る。]

(注) [略]

5-2 散布機械の運転日数
散布機械の100m²当り運転日数は、次式とする。

100m²当り運転日数

$$= 100\text{m}^2\text{当り設計散布量} / \text{時間当り散布量} / \text{1日当り運転時間} \dots\dots (式 5. 1)$$

時間当り散布量 表 4. 1

1日当り運転時間 表 5. 2

表 5. 2 日当り運転時間 (時間/日)

機 種	規 格	日当り運転時間
アスファルトエンジン プレーヤ	車載式 2.6kW 25ℓ/min	5.5
ガソリンエンジン駆動		
[削る。]	[削る。]	[削る。]

[削る。]

6. 諸雑費

諸雑費は、養生砂の材料費であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた額を計上する。

表 6. 1 諸雑费率 (%)

機 械 名	諸雑费率
アスファルトエンジンプレーヤ ガソリンエンジン駆動	7
[削る。]	[削る。]

7. 単価表

(1) [略]

[削る。]

5. 作業歩掛

5-1 瀝青材・養生砂散布歩掛
[略]

表 5. 1 瀝青材・養生砂散布の作業歩掛 (人/100m²)

施工機械	職 種	作 業 歩 掛
アスファルトエンジン プレーヤ	世話役	0.17
	特殊作業員	0.17
	普通作業員	0.20
<u>ディストリビュータ</u>	<u>世話役</u>	<u>0.02</u>
	<u>特殊作業員</u>	<u>0.04</u>
	<u>普通作業員</u>	<u>0.07</u>

(注) [略]

5-2 散布機械の運転日数
散布機械の100m²当り運転日数は、次式とする。

100m²当り運転日数

$$= 100\text{m}^2\text{当り設計散布量} / \text{時間当り散布量} / \text{1日当り運転時間} \dots\dots (式 5. 1)$$

時間当り散布量 表 4. 1

1日当り運転時間 表 5. 2

表 5. 2 日当り運転時間 (時間/日)

機 種	規 格	日当り運転時間
<u>アスファルトエンジン プレーヤ</u>	<u>車載式 2.6kW 25ℓ/min</u>	<u>5.5</u>
<u>ディストリビュータ</u>	<u>自走式(トラック架装 式) 2,000~3,000ℓ</u>	<u>4.5</u>

5-3 トラックの運転時間

ディストリビュータのベースとなるトラックの100m²当り運転時間は、次式とする。

トラックの100m²当り運転時間

$$= 100\text{m}^2\text{当り設計散布量} / \text{ディストリビュータの時間当り散布量} \dots\dots (式 5. 2)$$

時間当り散布量 表 4. 1

6. 諸雑費

諸雑費は、養生砂の材料費であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた額を計上する。

表 6. 1 諸雑费率 (%)

機 械 名	諸雑费率
アスファルトエンジンプレーヤ	7
<u>ディストリビュータ</u>	<u>30</u>

7. 単価表

(1) [略]

(2) 瀝青材散布工(ディストリビュータ)100m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
<u>世 話 役</u>		<u>人</u>		<u>表 5. 1</u>
<u>特 殊 作 業 員</u>		<u>〃</u>		<u>〃</u>

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
アスファルトエンジンスプレーヤ ガソリンエンジン駆動	車載式 2.6kW 250/min	機-12	燃料消費量→3.2 主燃料→ガソリン
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]

② バイプロハンマエ (継施工)

1.・2. [略]

3. 機種の設定

3-1 [略]

3-2 付属機械

3-2-1 バイプロハンマの付属機械の機種・規格は、次表を標準とするが現場条件によりこれにより難しい場合は、別途考慮することができる。

表 3.5 付属機械の機種・規格

バイプロハンマ種別	施工内容	機種	規格
電動式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)	クローラクレーン	排出ガス対策型 (2014年規制) 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>最大吊上能力</u> 50~55t 吊
油圧式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)		

(注) [略]

4.・5. [略]

6. 単価表

(1)~(4) [略]

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
-------	-----	-------	---------

普 通 作 業 員		〃	〃
歴 青 材		〇	式 4.1
ディストリビュータ運転		且	式 5.1
トラック損料	4.0~4.5t積	時間	式 5.2
諸 雑 費		式	1 表 6.1
計			

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
アスファルトエンジンスプレーヤ	車載式 2.6kW 250/min	機-12	燃料消費量→3.2 主燃料→ガソリン
ディストリビュータ	自走式 (トラック架装式) 2,000~3,000ℓ	機-33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33
トラック	4.0~4.5t積	機-13	燃料消費量はディストリビュータを含む

② バイプロハンマエ (継施工)

1.・2. [略]

3. 機種の設定

3-1 [略]

3-2 付属機械

3-2-1 バイプロハンマの付属機械の機種・規格は、次表を標準とするが現場条件によりこれにより難しい場合は、別途考慮することができる。

表 3.5 付属機械の機種・規格

バイプロハンマ種別	施工内容	機種	規格
電動式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)	クローラクレーン	排出ガス対策型 (2014年規制) 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50~55t 吊
油圧式バイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)		

(注) [略]

4.・5. [略]

6. 単価表

(1)~(4) [略]

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
-------	-----	-------	---------

電動式ハイブロンマ杭打機	電動式・普通型 60kW、90kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハイブロンマ (単体) 電動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) <u>最大吊上能力</u> 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
電動式ハイブロンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変 モーメント型 60kW、90kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハイブロンマ (単体) 電動式・可変モーメント型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) <u>最大吊上能力</u> 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハイブロンマ杭打機	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハイブロンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) <u>最大吊上能力</u> 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハイブロンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハイブロンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) <u>最大吊上能力</u> 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
杭打ち用ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量 →139 機械損料数量 →1.31

③ 軽量鋼矢板打設・引抜 (バイブロンマ)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

3-1 使用機械の規格

使用機械の規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械の規格

電動式ハイブロンマ杭打機	電動式・普通型 60kW、90kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハイブロンマ (単体) 電動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
電動式ハイブロンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	電動式・可変 モーメント型 60kW、90kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハイブロンマ (単体) 電動式・可変モーメント型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハイブロンマ杭打機	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハイブロンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハイブロンマ杭打機 (ハット形鋼矢板用)	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機-20	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハイブロンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型 (2014年規制) (油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型) 50~55 t 吊 機械損料数量 →1.31
杭打ち用ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量 →139 機械損料数量 →1.31

③ 軽量鋼矢板打設・引抜 (バイブロンマ)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

3-1 使用機械の規格

使用機械の規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械の規格

機 種	規 格	摘 要
電動式バイプロハンマ	15kW	
<u>ラフテレーンクレーン</u>	<u>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）最大吊上能力25t吊</u>	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型最大吊上能力16t吊	必要により計上
発 動 発 電 機	<u>超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）</u> 17/20kVA	”

(注) 1.・2. [略]

4.・5. [略]

6. 単価表

(1) 軽量鋼矢板打込み又は引抜き 10 枚当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
と び 工		”	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 2$	
普通作業員		”	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
バイプロハンマ 杭 打 機 運 転	15kW	h	$\frac{10 \times T_c}{60}$	ベースマシン +バイプロハンマ
発 動 発 電 機	<u>超低騒音型・</u> <u>排出ガス対策型</u> <u>（第3次基準値）</u> 17/20kVA	日	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T}$	必要に応じて計上する
トラッククレーン運転	<u>油圧伸縮ジブ型</u> <u>最大吊上能力16</u> <u>t吊</u>	h	$\frac{10 \times T_c}{60} \times 0.6$	必要に応じて計上する
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
電動式バイプロハンマ 杭 打 機	15kW	機-5	商用電力を使用した場合は下記による 電力量→E×0.7 E→バイプロハンマの運転時間当り電力消費量(kWh) T c→矢板1枚当り施工時間(分)
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 <u>最大吊上能力16t</u> 吊	機-1	
発 動 発 電 機	<u>超低騒音型・</u> <u>排出ガス対策型</u> <u>（第3次基準値）</u> ディーゼルエンジン 17/20kVA	機-12	運転時間→バイプロハンマの標準運転日当り運転時間(T)

④ 仮設電気

機 種	規 格	摘 要
電動式バイプロハンマ	15kW	
<u>クローラクレーン</u>	<u>機械駆動式ウインチ・</u> <u>ラチスジブ型16t吊</u>	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型16t吊	必要により計上
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 <u>（第1次基準値）</u> 17/20kVA	”

(注) 1.・2. [略]

4.・5. [略]

6. 単価表

(1) 軽量鋼矢板打込み又は引抜き 10 枚当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
と び 工		”	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 2$	
普通作業員		”	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
バイプロハンマ 杭 打 機 運 転	15kW	h	$\frac{10 \times T_c}{60}$	ベースマシン +バイプロハンマ
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 <u>（第1次基準値）</u> 17/20kVA	日	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T}$	必要に応じて計上する
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	h	$\frac{10 \times T_c}{60} \times 0.6$	必要に応じて計上する
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
電動式バイプロハンマ 杭 打 機	15kW	機-5	商用電力を使用した場合は下記による 電力量→E×0.7 E→バイプロハンマの運転時間当り電力消費量(kWh) T c→矢板1枚当り施工時間(分)
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	機-1	
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 <u>（第1次基準値）</u> ディーゼルエンジン 17/20kVA	機-12	運転時間→バイプロハンマの標準運転日当り運転時間(T)

④ 仮設電気

1. ～ 8. [略]

2-3-1～2-4-1 [略]

2-5-1 高压引込及び構内配電設備設置・撤去

1.・2. [略]

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛 (1箇所当り)

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	4.80	—	
ケーブル端末処理	〃	3.60	—	
接 地	A種開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	HIVE φ 54 屋外	1.20	—	
支 線 工	ステップロック 2号	0.60	0.70	
計		18.25	7.35	

(注) [略]

4. ～ 6. [略]

2-5-2 高压引込設備設置・撤去

1.・2. [略]

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛 (1箇所当り)

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	2.40	—	
ケーブル端末処理	〃	1.80	—	
接 地	A種 開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	HIVE φ 54 屋外	0.60	—	
支 線 工	ステップロック 2号	0.60	0.70	
計		13.45	7.35	

(注) [略]

4. [略]

5. 装柱図例

高压受電高压配電する場合

図 [略]

1. ～ 8. [略]

2-3-1～2-4-1 [略]

2-5-1 高压引込及び構内配電設備設置・撤去

1.・2. [略]

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛 (1箇所当り)

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	4.80	—	
ケーブル端末処理	〃	3.60	—	
接 地	A種開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	VE φ 54 屋外	1.20	—	
支 線 工	ステップロック 2号	0.60	0.70	
計		18.25	7.35	

(注) [略]

4. ～ 6. [略]

2-5-2 高压引込設備設置・撤去

1.・2. [略]

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛 (1箇所当り)

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	2.40	—	
ケーブル端末処理	〃	1.80	—	
接 地	A種 開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	VE φ 54 屋外	0.60	—	
支 線 工	ステップロック 2号	0.60	0.70	
計		13.45	7.35	

(注) [略]

4. [略]

5. 装柱図例

高压受電高压配電する場合

図 [略]

NO	名 称	形状・規格	単 位	備 考
1	コンクリート柱	8 m	本	
2	コンクリート根柵	電力形 (バンド別)	個	
3	軽腕金	引留用 1,500mm	本	
		電線用 900mm	〃	
4	アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個	
5	高圧耐張碍子	普通形	〃	
6	高圧ピン碍子	普通形 大	〃	
7	ステーブロック	2号 600×300mm	組	支線ロッド付
8	高圧ケーブル	6 kV CV 3C 38mm ²	m	
9	高圧端末処理	6 kV CV 3C 38mm ² 屋内	組	
		6 kV CV 3C 38mm ² 屋外	〃	
10	接地極	900×900×1.5mm	枚	
11	接地線	IV 14mm ²	m	
12	気中開閉器	地絡保護付 200A	台	
13	簡易配電盤		面	
14	根柵用Uバンド	1号 A	個	その他材料
15	足場ボルト	4BF	本	〃
16	ストラップ	3×38×280	個	〃
17	耐張碍子引留金具	HIS	〃	〃
18	ケーブル支持金具	CS-AI	〃	〃
19	サドル	US-60	〃	〃
20	自在バンド	IBT-208	〃	〃
		3BD-HD-12	〃	〃
21	支線	亜鉛メッキ鋼より線 55mm ²	kg	〃
22	ワイヤークリップ	55mm ² 用	個	〃
23	玉碍子	100×100	〃	〃
24	硬質ビニル電線管	HIVE φ54	本	〃
25	支線ロッド		〃	

6. [略]

2-6-1 低圧引込設備設置・撤去

1. ~4. [略]

5. 装柱図例

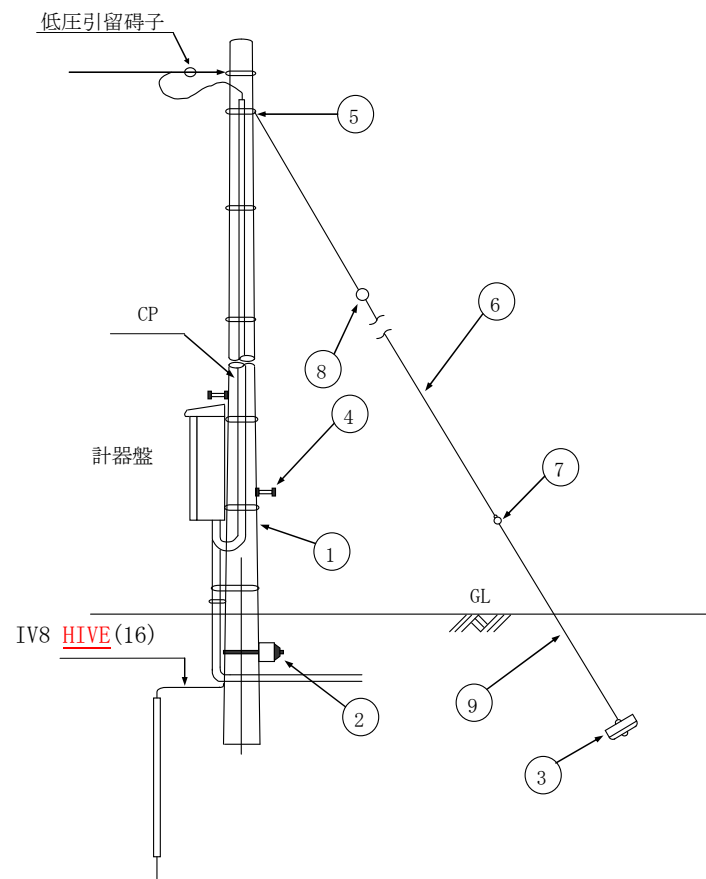
NO	名 称	形状・規格	単 位	備 考
1	コンクリート柱	8 m	本	
2	コンクリート根柵	電力形 (バンド別)	個	
3	軽腕金	引留用 1,500mm	本	
		電線用 900mm	〃	
4	アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個	
5	高圧耐張碍子	普通形	〃	
6	高圧ピン碍子	普通形 大	〃	
7	ステーブロック	2号 600×300mm	組	支線ロッド付
8	高圧ケーブル	6 kV CV 3C 38mm ²	m	
9	高圧端末処理	6 kV CV 3C 38mm ² 屋内	組	
		6 kV CV 3C 38mm ² 屋外	〃	
10	接地極	900×900×1.5mm	枚	
11	接地線	IV 14mm ²	m	
12	気中開閉器	地絡保護付 200A	台	
13	簡易配電盤		面	
14	根柵用Uバンド	1号 A	個	その他材料
15	足場ボルト	4BF	本	〃
16	ストラップ	3×38×280	個	〃
17	耐張碍子引留金具	HIS	〃	〃
18	ケーブル支持金具	CS-AI	〃	〃
19	サドル	US-60	〃	〃
20	自在バンド	IBT-208	〃	〃
		3BD-HD-12	〃	〃
21	支線	亜鉛メッキ鋼より線 55mm ²	kg	〃
22	ワイヤークリップ	55mm ² 用	個	〃
23	玉碍子	100×100	〃	〃
24	硬質ビニル電線管	VE φ54	本	〃
25	支線ロッド		〃	

6. [略]

2-6-1 低圧引込設備設置・撤去

1. ~4. [略]

5. 装柱図例



6. [略]

3-1-1~4-4-1 [略]

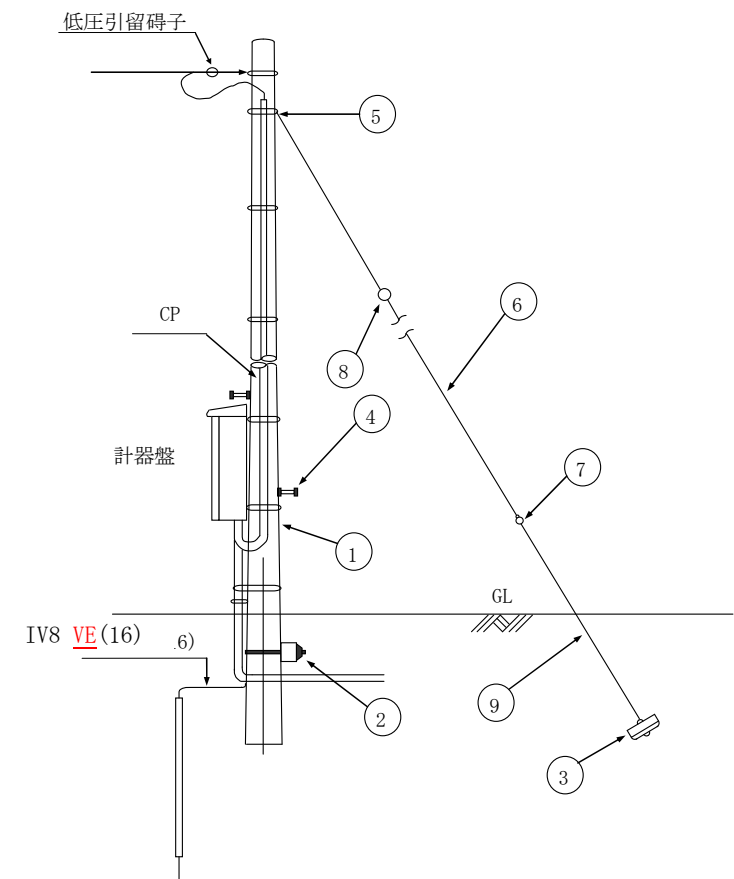
5-1 柱上変電設備 1台乗单相・高压配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量	摘要
軽腕金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	本	3	〃
高压引下线	PDC 14 mm ²	m	8	〃
高压カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	2	〃
高压ピン碍子	普通形大	本	6	〃
ボルト	真棒 M12×200 mm	本	2	〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1	〃
自在バンド	4BD-HC-12	本	4	〃
接地極	900×900×1.5 mm	枚	2	全損
	IV 14 mm ²	m	15	〃
接地線	IV 38 mm ²	m	15	〃
	IV 14 mm ²	m	15	〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	本	3	〃
	HIVE φ22	本	3	〃



6. [略]

3-1-1~4-4-1 [略]

5-1 柱上変電設備 1台乗单相・高压配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量	摘要
軽腕金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	本	3	〃
高压引下线	PDC 14 mm ²	m	8	〃
高压カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	2	〃
高压ピン碍子	普通形大	本	6	〃
ボルト	真棒 M12×200 mm	本	2	〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1	〃
自在バンド	4BD-HC-12	本	4	〃
接地極	900×900×1.5 mm	枚	2	全損
	IV 14 mm ²	m	15	〃
接地線	IV 38 mm ²	m	15	〃
	IV 14 mm ²	m	15	〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	本	3	〃
	VE φ22	本	3	〃

変圧器	单相 kVA	台	1	損料②
雑品		%	0.5	

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃		〃
	HIVE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-2 柱上変電設備 1台乗三相・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量	摘要
軽腕金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	3	〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m	12	〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	3	〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃	9	〃
ボルト	真棒 M12×200 mm	〃	2	〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1	〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃	4	〃
接地極	900×900×1.5 mm	枚	2	全損
接地線	IV 14 mm ²	m	15	〃
	IV 38 mm ²	〃	15	〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃	3	〃
	HIVE φ22	〃	3	〃
変圧器	三相 kVA	台	1	損料②
雑品		%	0.5	

(注) [略]

変圧器	单相 kVA	台	1	損料②
雑品		%	0.5	

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-2 柱上変電設備 1台乗三相・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量	摘要
軽腕金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	3	〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m	12	〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	3	〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃	9	〃
ボルト	真棒 M12×200 mm	〃	2	〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1	〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃	4	〃
接地極	900×900×1.5 mm	枚	2	全損
接地線	IV 14 mm ²	m	15	〃
	IV 38 mm ²	〃	15	〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃	3	〃
	VE φ22	〃	3	〃
変圧器	三相 kVA	台	1	損料②
雑品		%	0.5	

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン礎子	普通形 大	〃		〃
ポルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14mm ²	m		〃
	IV 38mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃		〃
	HIVE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-3 柱上変電設備 2台乗・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量			摘要
			单相2台	单相1台 三相1台	三相2台	
軽腕金	3.2×75×75×1,500mm	本	3			損料①
	3.2×75×75×1,800mm	〃	3			〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m	13		15	〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	4	5	6	〃
高圧ピン礎子	普通形 大	〃	10	11	12	〃
ポルト	真棒 M12×200mm	〃	6			〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	5			〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1			〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃	5			〃
接地極	900×900×1.5mm	枚	2			全損
接地線	IV 14mm ²	m	15			〃
	IV 38mm ²	〃	15			〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃	3			〃
	HIVE φ22	〃	3			〃
変圧器	单相 kVA	台	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	〃
雑品		%	0.5			

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン礎子	普通形 大	〃		〃
ポルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14mm ²	m		〃
	IV 38mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-3 柱上変電設備 2台乗・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	数量			摘要
			单相2台	单相1台 三相1台	三相2台	
軽腕金	3.2×75×75×1,500mm	本	3			損料①
	3.2×75×75×1,800mm	〃	3			〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m	13		15	〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	4	5	6	〃
高圧ピン礎子	普通形 大	〃	10	11	12	〃
ポルト	真棒 M12×200mm	〃	6			〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	5			〃
自在アームバンド	UABD-317	個	1			〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃	5			〃
接地極	900×900×1.5mm	枚	2			全損
接地線	IV 14mm ²	m	15			〃
	IV 38mm ²	〃	15			〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃	3			〃
	VE φ22	〃	3			〃
変圧器	单相 kVA	台	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	〃
雑品		%	0.5			

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14mm ²	m		〃
	IV 38mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃		〃
	HIVE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-4 柱上変電設備 H変台・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	表4.1 使用材料 (1箇所当り)			摘要	
			単相3台	単相2台 三相1台	単相1台 三相2台		三相3台
電柱	コンクリート柱 8m	本	1			損料①	
コンクリート根枷	A形 (バンド付)	個	1			〃	
軽腕金	3.2×75×75×2,500mm	本	7			〃	
	3.2×75×75×1,800mm	〃	2			〃	
	3.2×75×75×1,500mm	〃	1			〃	
高圧引下線	PDC 14mm ²	m	18	21	24	27	〃
H柱変台高圧母線	OC 38mm ²	〃	9			〃	
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	6	7	8	9	〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃	15	17	19	21	〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃	8			〃	
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	8			〃	
自在アームバンド	UABD-317	個	2			〃	
自在バンド	4BD-HC-12	〃	12			〃	
接地極	900×900×1.5mm	枚	2			全損	
接地線	IV 14mm ²	m	15			〃	
	IV 38mm ²	〃	15			〃	
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃	3			〃	
	HIVE φ22	〃	3			〃	
変圧器	単相 kVA	台	3	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	3	〃
雑品		%	0.5				

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
電柱	コンクリート柱 8m	本		表4.1

名称	規格	単位	数量	摘要
軽腕金	1,500mm	本		表4.1
	1,800mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14mm ²	m		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14mm ²	m		〃
	IV 38mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電工		人		表3.1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表4.1
計				

(2) [略]

5-4 柱上変電設備 H変台・高圧配電線路有り

1. ~3. [略]

4. 使用材料

表4.1 使用材料 (1箇所当り)

名称	形状・規格	単位	表4.1 使用材料 (1箇所当り)			摘要	
			単相3台	単相2台 三相1台	単相1台 三相2台		三相3台
電柱	コンクリート柱 8m	本	1			損料①	
コンクリート根枷	A形 (バンド付)	個	1			〃	
軽腕金	3.2×75×75×2,500mm	本	7			〃	
	3.2×75×75×1,800mm	〃	2			〃	
	3.2×75×75×1,500mm	〃	1			〃	
高圧引下線	PDC 14mm ²	m	18	21	24	27	〃
H柱変台高圧母線	OC 38mm ²	〃	9			〃	
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	6	7	8	9	〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃	15	17	19	21	〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃	8			〃	
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本	8			〃	
自在アームバンド	UABD-317	個	2			〃	
自在バンド	4BD-HC-12	〃	12			〃	
接地極	900×900×1.5mm	枚	2			全損	
接地線	IV 14mm ²	m	15			〃	
	IV 38mm ²	〃	15			〃	
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃	3			〃	
	VE φ22	〃	3			〃	
変圧器	単相 kVA	台	3	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	3	〃
雑品		%	0.5				

(注) [略]

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
電柱	コンクリート柱 8m	本		表4.1

コンクリート根柵	A形 (バンド付)	個		〃
軽腕金	2,500mm	本		〃
	1,800mm	〃		〃
	1,500mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m		〃
H柱変台高圧母線	OC 38 mm ²	〃		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	HIVE φ16	〃		〃
	HIVE φ22	〃		〃
電工		人		表 3. 1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表 4. 1
計				

(注) [略]

(2) [略]

6-2-1 分電盤設備 (3線式)

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 分電盤設備 (3線式) 設置歩掛 (1箇所当り)

名称	単位	負 荷 容 量 kW ま で								摘 要	
		単相 3線式		三 相 3線式							
		3	6	12	20	40	60	80			
三 相 3線式		1.5	3.7	7.5	15	37	60	80			
労務	電工	人	0.79	0.79	1.13	1.40	2.47	3.48	3.60		
材料	配線用 しゃ断機	規格	(30A) 3P30A	(30A) 3P30A	(60A) 3P60A	(100A) 3P100A	(225A) 3P200A	(400A) 3P300A	(400A) 3P400A	損料	
	屋外スイッチ ボックス	個	1.00								〃
	電線 IV	規格	1.6 mm	2.0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃	
	電線管 HIVE	〃	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
	雑品	%	0.5								

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

分電盤設備 (3線式) 設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
配線用しゃ断機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電線	IV線	m		〃
電線管	HIVE管	本		〃
電工		人		〃

コンクリート根柵	A形 (バンド付)	個		〃
軽腕金	2,500mm	本		〃
	1,800mm	〃		〃
	1,500mm	〃		〃
高圧引下線	PDC 14 mm ²	m		〃
H柱変台高圧母線	OC 38 mm ²	〃		〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高圧ピン碍子	普通形 大	〃		〃
ボルト	真棒 M12×200mm	〃		〃
アームタイト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自在アームバンド	UABD-317	個		〃
自在バンド	4BD-HC-12	〃		〃
接地極	900×900×1.5mm	枚		〃
接地線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電工		人		表 3. 1
普通作業員		〃		〃
雑品		式	1	表 4. 1
計				

(注) [略]

(2) [略]

6-2-1 分電盤設備 (3線式)

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 分電盤設備 (3線式) 設置歩掛 (1箇所当り)

名称	単位	負 荷 容 量 kW ま で								摘 要	
		単相 3線式		三 相 3線式							
		3	6	12	20	40	60	80			
三 相 3線式		1.5	3.7	7.5	15	37	60	80			
労務	電工	人	0.79	0.79	1.13	1.40	2.47	3.48	3.60		
材料	配線用 しゃ断機	規格	(30A) 3P30A	(30A) 3P30A	(60A) 3P60A	(100A) 3P100A	(225A) 3P200A	(400A) 3P300A	(400A) 3P400A	損料	
	屋外スイッチ ボックス	個	1.00								〃
	電線 IV	規格	1.6 mm	2.0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃	
	電線管 VE	〃	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃	
	雑品	%	0.5								

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

分電盤設備 (3線式) 設置・撤去 1箇所当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
配線用しゃ断機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電線	IV線	m		〃
電線管	VE管	本		〃
電工		人		〃

雑	品	式	1	〃
計				

6-2-2 分電盤設備（2線式）

1. ~2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 分電盤設備（2線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW ま で								摘 要
		1.5	3	6	10	20	30	40		
労務	電 工	人	0.60	0.60	0.83	1.10	1.89	2.61	2.73	
材 料	配線用 しゃ断機	規 格	(30A) 2P30A	(30A) 2P30A	(60A) 2P60A	(100A) 2P100A	(225A) 2P200A	(400A) 2P300A	(400A) 2P400A	損 料
	屋外スイッチ ボックス	個	1.00						〃	
	電線 IV	規 格	1.6 mm	2.0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃
	電線管 HIVE	〃	16	16	22	36	42	70	82	〃
	雑 品	%	0.5						〃	

(注) [略]

4. 単価表

分電盤設備（2線式）設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配線用しゃ断機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電 線	IV線	m		〃
電 線 管	HIVE管	本		〃
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

8. 電気設備計画フロー

図 8. 1 [略]

⑤ 運搬(伐開、除根、除草)

1. ~3. [略]

4. 単価表

(1) ダンプトラック運搬 100空m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダンプトラック運搬	通称 10t 積級	日	D	表 3. 1
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ダンプトラック	通称 10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→60 機械損料数量→1.30

⑥ 地盤改良工(仮設道路基礎)

雑	品	式	1	〃
計				

6-2-2 分電盤設備（2線式）

1. ~2. [略]

3. 施工歩掛

表 3. 1 分電盤設備（2線式）設置歩掛 (1箇所当り)

名 称	単 位	負 荷 容 量 kW ま で								摘 要
		1.5	3	6	10	20	30	40		
労務	電 工	人	0.60	0.60	0.83	1.10	1.89	2.61	2.73	
材 料	配線用 しゃ断機	規 格	(30A) 2P30A	(30A) 2P30A	(60A) 2P60A	(100A) 2P100A	(225A) 2P200A	(400A) 2P300A	(400A) 2P400A	損 料
	屋外スイッチ ボックス	個	1.00						〃	
	電線 IV	規 格	1.6 mm	2.0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃
	電線管 VE	〃	16	16	22	36	42	70	82	〃
	雑 品	%	0.5						〃	

(注) [略]

4. 単価表

分電盤設備（2線式）設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配線用しゃ断機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電 線	IV線	m		〃
電 線 管	VE管	本		〃
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

8. 電気設備計画フロー

図 8. 1 [略]

⑤ 運搬(伐開、除根、除草)

1. ~3. [略]

4. 単価表

(1) ダンプトラック運搬 100空m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダンプトラック運搬	10t 積級	日	D	表 3. 1
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ダンプトラック	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→60 機械損料数量→1.30

⑥ 地盤改良工(仮設道路基礎)

1.・2. [略]

3. 機種を選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機 械 名	規 格
バックホウ (<u>クローラ型</u>)	低騒音型・ <u>クレーン機能付き</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9 t

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) 地盤改良工(仮設道路基礎)100m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.4	表 4. 2
普 通 作 業 員		〃	0.7	表 4. 2
固 化 材	セメント系	t		
バックホウ (<u>クローラ型</u>) 運転	低騒音型・ <u>クレーン機能付き</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9 t	日	100/D	表 4. 1
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (<u>クローラ型</u>)	低騒音型・ <u>クレーン機能付き</u> 排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9 t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →83 機械賃料数量 →1.42

⑦ 現場内除雪工

1.・2 [略]

3. 機種を選定

使用機械の機械・規格は次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

作 業 対 象 範 囲	機 械 名	規 格
土 工 部 仮 設 ヤ ー ド	バックホウ (<u>クローラ型</u>)	<u>標準型・クレーン機能付</u> ・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9 t
工 事 用 道 路	ホイールローダ (トラクタシヨベル)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 1.3~1.4m ³

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 土工部除雪 100m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要

1.・2. [略]

3. 機種を選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

機 械 名	規 格
バックホウ (<u>クレーン機能付</u>)	低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) ・ <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9 t 吊

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) 地盤改良工(仮設道路基礎)100m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.4	表 4. 2
普 通 作 業 員		〃	0.7	表 4. 2
固 化 材	セメント系	t		
バックホウ (<u>クレーン機能付</u>) 運転	低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9 t 吊	日	100/D	表 4. 1
計				

(注) [略]

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (<u>クレーン機能付</u>)	低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9 t 吊	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →83 機械賃料数量 →1.42

⑦ 現場内除雪工

1.・2 [略]

3. 機種を選定

使用機械の機械・規格は次表を標準とする。

表 3. 1 機種を選定

作 業 対 象 範 囲	機 械 名	規 格
土 工 部 仮 設 ヤ ー ド	バックホウ (<u>クレーン機能付</u>)	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9 t 吊
工 事 用 道 路	ホイールローダ (トラクタシヨベル)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 1.3~1.4m ³

(注) [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2) 土工部除雪 100m³当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要

バックホウ賃料 (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9t	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(3) 仮設ヤード除雪 100m³当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
バックホウ賃料 (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9t	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(4) 工事用道路除雪 100m³当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ホイールローダ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 1.3~1.4m ³	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>バケット容量</u> 0.8m ³ <u>吊能力</u> 2.9t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →92 機械賃料数量 →1.60
ホイールローダ (トラクタシヨベル)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>バケット容量</u> 1.3~1.4m ³	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →23 機械賃料数量 →2.20

6. 参考図

図 [略]

(注) [略]

バックホウ賃料 (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9t <u>吊</u>	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(3) 仮設ヤード除雪 100m³当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
バックホウ賃料 (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9t <u>吊</u>	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(4) 工事用道路除雪 100m³当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
ホイールローダ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 1.3~1.4m ³	日	100/D	表4.2.1
計				

(注) [略]

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第3次基準値) <u>クローラ型</u> <u>山積</u> 0.8m ³ (<u>平積</u> 0.6m ³) 2.9t <u>吊</u>	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →92 機械賃料数量 →1.60
ホイールローダ (トラクタシヨベル)	排出ガス対策型 (第2次基準値) <u>山積</u> 1.3~1.4m ³	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →23 機械賃料数量 →2.20

6. 参考図

図 [略]

(注) [略]